

第2部

町田市5ヵ年計画 17-21

第1章

重点事業プランの総括

1 重点事業プランとは

重点事業プランは、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」で示した4つの「まちづくり基本目標」を受け、2017年度から2021年度までの間に重点的に取り組む事業として、104事業を示したものです。

それぞれの事業には、その達成度を測定するため、重点事業ごとに事業の目標を設定しています。

2 重点事業プランの取り組み結果

2021年度の目標を達成した事業が全体の59%（61事業）となっています。目標達成には至らなかった事業は41%（43事業）です。

基本目標・基本政策		掲載数	目標達成数	達成率
基本目標1 将来を担う人が育つまちをつくる		20	14	70%
基本政策	1-1:安心して、楽しく子育てができるまちをつくる	5	3	60%
	1-2:子どもが生きる力をはぐくむまちをつくる	10	8	80%
	1-3:生涯にわたって学び、成長できるまちをつくる	5	3	60%
基本目標2 安心して生活できるまちをつくる		24	17	71%
基本政策	2-1:健康に生活できるまちをつくる	4	4	100%
	2-2:みんなが支え合うまちをつくる	12	7	58%
	2-3:地域で充実した生活を送れるまちをつくる	3	2	67%
	2-4:安全に生活できるまちをつくる	5	4	80%
基本目標3 賑わいのあるまちをつくる		31	16	52%
基本政策	3-1:経済活動が盛んなまちをつくる	11	4	36%
	3-2:文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる	11	5	45%
	3-3:魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる	9	7	78%
基本目標4 暮らしやすいまちをつくる		29	14	48%
基本政策	4-1:誰もが移動しやすいまちをつくる	12	5	42%
	4-2:良好な住環境のまちをつくる	6	3	50%
	4-3:みどり豊かなまちをつくる	8	4	50%
	4-4:環境に配慮したまちをつくる	3	2	67%
合計		104	61	59%

3 重点事業プランの主な成果（2017年度～2021年度）

まちづくり基本目標Ⅰ 将来を担う人が育つまちをつくる

I-1-1-2 教育・保育施設の整備

- ・ 認可保育所の整備や 20 年間期間限定認可保育所の整備支援等により、3 歳児未満の保育サービス定員は 2017 年度から 2021 年度にかけて 634 人増加し、3,015 人から 3,649 人になりました。

I-1-1-2 送迎保育ステーションの整備

- ・ 2017 年度に児童送迎を開始し、当初 1 台であった運行バスを 2018 年 4 月以降 2 台に増便しました。また、2021 年 5 月以降、児童が日中在籍する施設の園バスを活用する等により、1 日あたりの利用定員を 37 名に拡充することで、年間延べ利用者数は当初の 1,833 人から 9,145 人になりました。

I-1-2-2 児童虐待の防止

- ・ 保護者向けに加え、子ども向けの虐待防止啓発活動の実施、ホームタウンチームや大学等と連携した啓発活動を実施し、気軽に相談できる環境を整えることで、子育て総合相談の新規相談件数は 2016 年度の 2,147 人から 2021 年度には 6,015 件まで増加しました。

I-2-1-2 特別支援学級の整備

- ・ 市立小学校では、2018 年度に全 42 校でサポートルーム巡回指導を導入し、市立中学校では 2021 年度に全 20 校で導入しました。

I-2-2-1 教育の情報化の推進

- ・ ICT を活用した教育を推進するため、市立小・中学校全 62 校の児童・生徒に一人一台のタブレット端末を整備するとともに、プロジェクタ等の大型提示装置を全校に導入し、情報化を推進しました。

I-2-2-1 衛生・空調設備の整備

- ・ 児童・生徒の夏場の授業環境の改善に向け、2020 年度までに、市立小・中学校全 62 校の特別教室への空調設備の設置を完了しました。また、学校の衛生環境の改善に向け、2021 年度までに、市立小・中学校全 62 校で老朽化したトイレの改修を完了しました。

I-2-2-3 放課後の充実した活動・居場所づくりの推進

- ・ 放課後の安全管理を中心に小学校 41 校で実施していた「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」の活動内容を一新し、運営協議会による、従来よりも更に内容を充実させた新たな「放課後子ども教室 まちとも」として、2021 年度に市立小学校全 42 校で実施しました。

I-3-1-1 子どもたちの「豊かな遊び」を実現する場づくり

- ・ 子どもたちが自由に遊び、体験、挑戦、異年齢の人との関わりなどを通じて、心豊かに育つ身近な場としての「常設型冒険遊び場」を、2017年度に谷戸池公園、2019年度に三ツ目山公園の2箇所設置しました。

I-3-1-1 子どもの活動拠点の整備

- ・ 子どもクラブについて、2017年度に木曽子どもクラブ「きそっち」、2019年度に南町田子どもクラブ「つみき」と小山子どもクラブ「さん」、2020年度に三輪子どもクラブ「MIWA~GO」の4館を整備しました。

まちづくり基本目標Ⅱ 安心して生活できるまちをつくる

Ⅱ-2-1-1 元気高齢者の活躍推進

- ・ 介護施設での研修や資格取得による就労促進と介護人材バンクの運用による相談会やマッチングの実施により、2021年度は50人のアクティブシニアが介護施設等に就労しました。

Ⅱ-2-5-1 障がい者相談支援の充実

- ・ 相談支援事業所の11施設増設に伴い、施設に配置される相談支援専門員が確保でき、相談支援実施人数は2017年の750人から2021年の1,534人に増加しました。また、相談支援事業所連絡会を開催し、研修等を実施することで支援力を強化し、障がい者や家族の相談に応じた支援を実施しました。

Ⅱ-3-1-1 新たな地域協働の推進

- ・ 町田市地域活動サポートオフィスの2019年4月設立以降、団体からの相談受付や講座を実施し、顕在化していないニーズの把握や団体間の連携・協働の促進、組織基盤の強化を図った結果、5年間で65団体の活動の幅が広がるなど、活動の活性化が見られました。

Ⅱ-3-1-1 市民協働・地区協議会への支援

- ・ 地区協議会の活動の広報誌やPR動画による情報発信のほか、情報交換会や活動報告会を実施しました。また、「まちだをつなげる30人」プロジェクトの立ち上げや地区協議会構成団体の増加により、10,224人のスタッフが地区協議会の事業に関わりました。

Ⅱ-3-1-2 地域コミュニティ施設整備

- ・ 老朽化した玉川学園コミュニティセンターの建て替え工事を行い、2021年5月にリニューアルオープンしました。また、玉川学園前駅北口とコミュニティセンターをつなぐデッキの整備を行い、2021年10月に開通しました。

Ⅱ-4-1-1 地域の防災リーダーの育成

- ・ 避難施設個々のニーズに沿ったフォローアップのため、避難施設の実情や体験談、要配慮者への対応、感染症対策等をテーマに自主防災組織リーダー講習会を実施しました。2020年度以降は、オンライン形式の講習会を開催し、5年間で180人が受講しました。

Ⅱ-4-1-2 雨水管整備

- ・ 過去の浸水被害履歴を考慮し、浸水被害を軽減するための雨水管整備を、5年間で17箇所実施しました。

まちづくり基本目標Ⅲ 賑わいのあるまちをつくる

Ⅲ-1-1-2 商業の活性化支援

- ・ 市内の経済団体が連携し、市内経済の活性化及び「キャッシュレス決済」促進を後押しするため、スマートフォンによる決済サービスである「PayPay」を活用したプレミアムポイント事業を2020年度に2か月間、2021年度に1か月間実施し、合計約59万人が利用し、決済総額は約130億円に達しました。

Ⅲ-2-1-1 オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進

- ・ 東京2020オリンピック・パラリンピックの気運を高めるために、文化芸術活動の発表や鑑賞の機会をつくり、2018年から2021年度までに累計185回の文化プログラムを実施しました。
- ・ 市民が身近な場所で文化に触れることができる機会を提供することで、市内アーティストや団体等との新たなつながりを構築しました。

Ⅲ-3-1-1 (仮称)まちだシティプロモーション18-20の推進

- ・ 市制60周年を契機に、2018年から4ヵ年で実施した「まちだ〇ごと大作戦18-20⁺¹」の参加・参画者数は、当初の目標100万人を大きく上回る259万人を達成しました。

Ⅲ-3-1-2 町田薬師池公園四季彩の杜の整備

- ・ 町田市の観光拠点とするため、町田薬師池公園四季彩の杜の西園及びウェルカムゲートを整備し、2020年4月に開園しました。
- ・ 開園から2年連続で来園者数50万人を達成し、新たな賑わいが生まれました。

まちづくり基本目標Ⅳ 暮らしやすいまちをつくる

Ⅳ-1-4-2 自転車利用環境の整備

- ・ 環境負荷の少ない自転車の利用促進と、自転車と歩行者・自動車が安全に安心して通行できる環境をつくるため、自転車走行空間を新たに1.89km整備し、総延長は3.26kmとなりました。

IV-2-3-2 南町田駅周辺地区の拠点整備

- 官民共同で、都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備し「新たな暮らしの拠点」の創出する「南町田グランベリーパーク」が2019年11月にまちびらきを迎えました。
- まちのデザインと空間づくりが評価され、2021年3月には「第1回グリーンインフラ大賞」において国土交通大臣賞を、2021年12月には「土木学会デザイン賞2021」において優秀賞を受賞しました。

IV-3-2-3 北部丘陵における里山環境の回復・保全

- 里山環境保全活動に携わる人や地域住民などの多様な担い手が、里山環境の再生保全に取り組み、2018年度には山林バンクモデル事業で始めた『HATARAKU 認知症ネットワーク町田』の取り組みが、NHK厚生文化事業団「認知症にやさしいまち大賞」を受賞しました。
- 2021年度までに活動団体に人材、財政等の幅広い支援を行った結果、合計5つの団体や個人との協定により北部丘陵における未利用の山林約66,000㎡を活用できました。

IV-4-2-2 資源循環型施設の整備

- 2022年1月に、生ごみをメタン発酵させる町田市バイオエネルギーセンターが、東日本で初めて一般廃棄物の焼却施設に併設する施設としてオープンしました。

4 重点事業プランの取り組み結果一覧

基本政策	事業名	指標	取り組み結果	ページ
I-1 安心して、楽しく子育てができるまちをつくる	教育・保育施設の整備 (I-1-1-2)	① 3歳児未満の保育サービス提供率	達成	62
		② 3歳児未満の保育サービス定員		
	送迎保育ステーションの整備 (I-1-1-2)	年間延べ利用者数	達成	63
	乳幼児の発達支援 (I-1-1-3)	① 地域支援の実施件数	未達成	64
		② 児童発達支援の利用者数		
		③ 障がい児支援利用計画の新規作成件数		
地域における子育て相談の充実 (I-1-2-1)	① マイ保育園実施園数	未達成	65	
	② 園庭・室内開放参加人数			
児童虐待の防止 (I-1-2-2)	子育て総合相談の新規相談件数	達成	66	
I-2 子どもが生きる力をはぐくむまちをつくる	幼保小連携の推進 (I-2-1-1)	① 町田市版アプローチカリキュラム策定	達成	67
		② 町田市版スタートカリキュラム策定		
	学力・体力向上の推進 (I-2-1-1)	① 授業の理解度 (小学校)	未達成	68
		① 授業の理解度 (中学校)		
		② 週の運動時間 (小学校)		
		② 週の運動時間 (中学校)		
	【主要事業】 えいごのまちだ事業 (I-2-1-1)	① 「英検3級程度」の力がある中学校3年生の割合の増加	未達成	69
		② 中学校2年生の英語の学力調査における東京都平均値と比較してのポイントの増加		
		③ 学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけてみたいと思う中学校2年生の割合の増加		
		④ 英語の時間が楽しいと感じる小学校5年生の割合の増加		
	特別支援学級の整備 (I-2-1-2)	① 小学校のコミュニケーションの教室 (情緒障がい等学級) の巡回指導導入学校数	達成	70
		② 中学校の情緒障がい等学級の巡回指導導入学校数		
	小・中学校の増改築 (I-2-2-1)	① 鶴川第一小学校整備	達成	71
		② 町田第一中学校整備		
衛生・空調設備の整備 (I-2-2-1)	① トイレの改修完了	達成	72	
	② 特別教室空調の整備完了			
教育の情報化推進 (I-2-2-1)	① 授業の理解度 (小学校)	達成	73	
	① 授業の理解度 (中学校)			
	② 小学校のICT環境整備校数			
	③ 中学校のICT環境整備校数			
通学路の安全確保 (I-2-2-2)	④ 学校運営支援システムの導入	達成	74	
	防犯カメラを設置			
放課後の充実した活動・居場所づくりの推進 (I-2-2-3)	新たな「まちとも」の実施校数	達成	74	
地域と連携した教育活動 (I-2-2-3)	① 地区統括ボランティアコーディネーターの人数	達成	75	
	② 地域ミーティングの実施			

基本政策	事業名	指標	取り組み結果	ページ
I-3 生涯にわたって学び、成長できるまちをつくる	学童保育クラブの整備 (I-3-1-1)	① 狭あい化を解消する学童保育クラブ数	達成	76
		② 老朽化を解消する学童保育クラブ数		
	放課後の充実した活動・居場所づくりの推進(再掲事業) (I-3-1-1)	新たな「まちとも」の実施校数	達成	77
	子どもたちの「豊かな遊び」を実現する場づくり(I-3-1-1)	常設型冒険遊び場の箇所数	未達成	77
	子どもの活動拠点の整備 (I-3-1-1)	子どもクラブ施設数	未達成	78
	子どもの参画の推進 (I-3-1-1)	子どもの参画の推進(会議等開催)	達成	78
II-1 健康に生活できるまちをつくる	食育の推進 (II-1-1-1)	① 1日の野菜摂取量の増加	達成	80
		② 「まちだすいとん」の延べ提供数		
	がん予防対策の推進 (II-1-1-1)	① 職域に向けたがんの予防普及啓発	達成	81
		② 働き盛り世代ががん検診を受けた割合		
健康増進施設の整備 (II-1-1-1)	温浴施設の整備	達成	81	
心の健康づくり (II-1-1-2)	① 自殺死亡率の減少	達成	82	
	② 事業者に対して行う心の健康づくり普及啓発			
II-2 みんなが支え合うまちをつくる	元気高齢者の活用推進 (II-2-1-1)	アクティブシニアの施設就労人数	達成	83
	子どもと高齢者の体力向上推進事業 (II-2-1-2)	教室事業の参加者数(子ども対象)	未達成	84
		教室事業の参加者数(高齢者対象)		
	地域包括ケアの推進 (II-2-2-1)	① 認知症初期集中支援チーム	未達成	85
		② 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト		
	介護の担い手育成 (II-2-2-1)	研修参加者数	達成	86
	良質な施設介護サービスの提供の推進 (II-2-2-1)	要介護度の改善者数	未達成	86
	成年後見制度利用支援 (II-2-2-1)	市民後見人累計登録者数	未達成	87
	介護施設整備 (II-2-2-2)	地域密着型サービス施設数(地域密着型通所介護を除く)	達成	87
	障がい者就労支援 (II-2-3-1)	一般就労した障がい者数	達成	88
	介護の担い手育成(再掲事業) (II-2-5-1)	研修参加者数	達成	89
	地域福祉活動支援 (II-2-5-1)	地区別の懇談会参加者数	達成	89
成年後見制度利用支援(再掲事業) (II-2-5-1)	市民後見人累計登録者数	未達成	90	
障がい者相談支援の充実 (II-2-5-1)	サービス等利用計画相談支援実施累計人数	達成	90	

基本政策	事業名	指標	取り組み結果	ページ
Ⅱ-3 地域で 充実した生活 を送れるまち をつくる	【未来づくりプロジェクト】 新たな地域協働の推進 (Ⅱ-3-1-1)	支援を行ったことで、活動の活性化につながった団体数	達成	91
	【未来づくりプロジェクト】 市民協働・地区協議会への支援 (Ⅱ-3-1-1)	地区協議会の事業を支えるスタッフ数	達成	92
	【未来づくりプロジェクト】 地域コミュニティ施設整備 (Ⅱ-3-1-2)	玉川学園コミュニティセンター及びデッキの整備	未達成	93
Ⅱ-4 安全に 生活できる まちをつくる	地域の防災リーダーの育成 (Ⅱ-4-1-1)	自主防災組織リーダーフォローアップ講習会修了者	達成	94
	地震対策(Ⅱ-4-1-2)	① 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	達成	95
		② 住宅の耐震化率		
		③ 重要な汚水幹線などの耐震化率		
		④ 下水処理場建築物の耐震化率		
		⑤ マンホールトイレ設置施設数		
雨水管整備(Ⅱ-4-1-2)	雨水管の面積整備率	達成	96	
協働パトロール隊の推進 (Ⅱ-4-2-1)	協働パトロール隊のパトロール回数	未達成	97	
通学路の安全確保(再掲事業) (Ⅱ-4-2-1)	防犯カメラを設置	達成	97	
Ⅲ-1 経済活動が 盛んなまち をつくる	【未来づくりプロジェクト】 中心市街地活性化の推進 (Ⅲ-1-1-1)	① 中心市街地歩行者通行量	未達成	100
		② 町田駅周辺の中心市街地で滞在時間2時間超の人の割合		
		③ ペDESTリアンデッキ下環境改善整備実施地区数		
	【未来づくりプロジェクト】 原町田一丁目地区のまちづくりの推進(Ⅲ-1-1-1)	都市計画決定	未達成	101
	【未来づくりプロジェクト】 小田急町田駅周辺地区のまちづくりの推進(Ⅲ-1-1-1)	小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定	達成	101
	鶴川駅周辺のまちづくりの推進 (Ⅲ-1-1-1)	① 北口広場再編整備の着手	未達成	102
		② 南口土地区画整理事業の認可		
	南町田駅周辺地区の拠点整備 (Ⅲ-1-1-1)	事業完了	未達成	103
	商業の活性化支援(Ⅲ-1-1-2)	① 中小企業相談所相談・指導件数	達成	104
		② 商店会などのイベント事業件数		
	ものづくり事業者への支援の充実 (Ⅲ-1-2-1)	① 産業見本市出展支援件数	達成	105
② 町田市トライアル発注認定商品数				
【未来づくりプロジェクト】 農業の生産性の向上 (Ⅲ-1-3-1)	① 農業研修修了者数	未達成	106	
	② 農地あっせん面積			
	③ 都市農業活性化支援事業実施件数			
【未来づくりプロジェクト】 農とのふれあいの推進 (Ⅲ-1-3-2)	① インターネットを利用した農業情報発信	達成	107	
	② 町田薬師池公園四季彩の杜農業体験利用者数			
【未来づくりプロジェクト】 起業の支援(Ⅲ-1-4-1)	市内で開業した事業所の数	未達成	108	
企業誘致の推進(Ⅲ-1-4-2)	1年間に誘致した企業数	未達成	109	

基本政策	事業名	指標	取り組み結果	ページ
Ⅲ-2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる	オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進 (Ⅲ-2-1-1)	文化プログラム実施回数	達成	110
	【未来づくりプロジェクト】 文化芸術の拠点施設の整備 (Ⅲ-2-1-2)	① 文化芸術ホール基本構想策定着手	未達成	111
		② (仮称) 国際工芸美術館工事着手		
	文化芸術作品の鑑賞機会の充実 (Ⅲ-2-1-2)	① 国際版画美術館展覧会観覧者数	未達成	112
		② 国際版画美術館来館者数		
	【未来づくりプロジェクト】 芹ヶ谷公園芸術の杜の整備 (Ⅲ-2-1-2)	第一期整備完了(都営住宅跡地など)	達成	113
	市内文化財の保存と活用の推進 (Ⅲ-2-1-3)	高ヶ坂遺跡公園整備	達成	113
	地域のスポーツ環境の整備 (Ⅲ-2-2-1)	地域スポーツクラブの会員数	達成	114
	スポーツをする場の環境整備 (Ⅲ-2-2-1)	スポーツ施設整備数	未達成	114
	東京2020オリンピック・パラリンピック等国際大会の推進 (Ⅲ-2-2-1)	① キャンプ地招致競技	達成	115
		② オリンピック・パラリンピック気運醸成イベント数		
	子どもと高齢者の体力向上推進 (再掲事業)(Ⅲ-2-2-1)	教室事業の参加者数(子ども対象)	未達成	116
教室事業の参加者数(高齢者対象)				
野津田公園スポーツの森の整備 (Ⅲ-2-2-2)	① 拡張区域整備	未達成	117	
	② 大型映像装置整備			
	③ 観客席増設			
アスリートやホームタウンチームとの連携の推進(Ⅲ-2-2-3)	年間観戦者数	未達成	118	
Ⅲ-3 魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる	オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進(再掲事業) (Ⅲ-3-1-1)	文化プログラム実施回数	達成	119
	(仮称)まちだシティプロモーション18-20の推進 (Ⅲ-3-1-1)	取組参画・参加人数	達成	120
	【未来づくりプロジェクト】 地域の特性を活かした観光まちづくりの推進(Ⅲ-3-1-2)	① 町田市観光コンベンション協会のホームページ訪問者数	未達成	121
		② 観光案内ボランティアの人数		
	外国人観光客等の受入環境の整備 (Ⅲ-3-1-2)	① 多言語版の観光マップ類の作成数	未達成	122
		② 無料公衆無線LAN((仮称)Machida Free Wi-Fi)のアクセスポイント数		
	【未来づくりプロジェクト】 町田薬師池公園四季彩の杜の整備 (Ⅲ-3-1-2)	① 西園及びウェルカムゲートの整備	達成	123
		② リス園・ダリア園の改修		
	香山緑地の整備(Ⅲ-3-1-2)	香山緑地の整備	達成	123
シティプロモーションの推進 (Ⅲ-3-2-1)	① 広告換算費	達成	124	
	② 町田市に魅力を感じる市民の割合			
(仮称)まちだシティプロモーション18-20の推進(再掲事業) (Ⅲ-3-2-1)	取組参画・参加人数	達成	126	
シティセールスの推進 (Ⅲ-3-2-2)	① シティセールス活動実施回数	達成	127	
	② 映画・ドラマなどの撮影件数			

基本政策	事業名	指標	取り組み結果	ページ
IV-1 誰もが移動しやすいまちをつくる	都市計画道路の整備 (IV-1-1-1)	① 事業実施路線数	達成	130
		② 都市計画道路の整備済延長(市施行分)		
	準幹線道路の整備(IV-1-1-1)	整備済延長	達成	131
	町田市道路整備計画の策定 (IV-1-1-1)	① 東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)に位置づけられた都市計画道路の都市計画決定	未達成	132
		② 多摩都市モノレール導入路線の事業化に向けた検討		
	相原駅周辺のまちづくりの推進 (IV-1-1-1)	東口アクセス路整備の着手	未達成	133
	【未来づくりプロジェクト】 無電柱化の推進(IV-1-2-2)	整備済延長	未達成	133
	【未来づくりプロジェクト】 多摩都市モノレールの延伸 (IV-1-3-1)	事業化に向けた検討	達成	134
	【未来づくりプロジェクト】 小田急多摩線の延伸 (IV-1-3-1)	事業化に向けた検討	未達成	135
	【未来づくりプロジェクト】 路線バス利用環境の整備 (IV-1-3-2)	① 小山田桜台を拠点とした唐木田駅方面への新規路線導入	未達成	135
		② 拠点の整備		
	【未来づくりプロジェクト】 小田急町田駅周辺地区のまちづくりの推進(再掲事業) (IV-1-3-3)	小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定	達成	136
	鶴川駅周辺のまちづくりの推進 (再掲事業)(IV-1-3-3)	① 北口広場再編整備の着手	未達成	137
② 南口土地区画整理事業の認可				
【未来づくりプロジェクト】 交通空白地区の解消 (IV-1-4-1)	新たな公共交通サービスの導入	未達成	138	
自転車利用環境の整備 (IV-1-4-2)	自転車走行空間整備延長	達成	139	
IV-2 良好な住環境のまちをつくる	空家対策の推進(IV-2-1-1)	特定空家等の件数	達成	140
	【未来づくりプロジェクト】 団地再生の推進(IV-2-1-2)	団地再生に向けた取組を行っている団地数	達成	141
	南町田駅周辺地区の拠点整備(再掲事業)(IV-2-3-2)	事業完了	未達成	142
	鶴川駅周辺のまちづくりの推進 (再掲事業)(IV-2-3-2)	① 北口広場再編整備の着手	未達成	143
		② 南口土地区画整理事業の認可		
	相原駅周辺のまちづくりの推進 (再掲事業)(IV-2-3-2)	東口アクセス路整備の着手	未達成	143
【未来づくりプロジェクト】 計画的なまちづくりの推進 (IV-2-3-2)	改定完了	達成	144	

基本政策	事業名	指標	取り組み結果	ページ
IV-3 みどり 豊かな まちを つくる	生物多様性の保全（IV-3-2-1）	① 生きもの情報報告件数	達成	145
		② （仮称）生きものストップ設置件数		
	【未来づくりプロジェクト】 町田薬師池公園四季彩の杜の整備 （再掲事業）（IV-3-2-2）	① 西園及びウェルカムゲートの整備	達成	146
		② リス園・ダリア園の改修		
	野津田公園スポーツの森の整備 （再掲事業）（IV-3-2-2）	① 拡張区域整備	未達成	147
		② 大型映像装置整備		
		③ 観客席増設		
	【未来づくりプロジェクト】 芹ヶ谷公園芸術の杜の整備（再掲 事業）（IV-3-2-2）	第一期整備完了（都営住宅跡地など）	達成	148
	（仮称）蓮田公園の整備 （IV-3-2-2）	（仮称）蓮田公園の整備	未達成	148
（仮称）大戸広場の整備 （IV-3-2-2）	（仮称）大戸広場整備	未達成	149	
処分場上部を活用した公園の整備 （IV-3-2-2）	処分場上部公園整備	未達成	149	
【未来づくりプロジェクト】 北部丘陵における里山環境の回 復・保全（IV-3-2-3）	① 新たな交流・回遊拠点の開設	達成	150	
	② 新たな取組による山林などの活用面積			
IV-4 環境に 配慮し たまち をつく る	水素エネルギーの活用 （IV-4-1-2）	① 水素ステーションの誘致	達成	151
		② 水素関連のイベントに参加した市民		
	資源循環型施設の整備 （IV-4-2-2）	① 熱回収施設などの整備	未達成	152
② 資源ごみ処理施設の整備				
下水処理場の整備（IV-4-3-2）	高度処理化率	達成	153	

5 重点事業プランの各取り組みの結果

○重点事業プランの「達成度」及び「取り組み結果」の考え方について

【達成度の考え方】

計画当初に立てたすべての指標について、実績値に応じて「◎・○・△」の3段階で達成度を示しています。

達成度	
◎	目標値を上回った場合 (目標値に対して110%以上の実績値を達成した場合)
○	おおむね目標値どおりの場合 (目標値に対して110%未満、90%以上の実績値を達成した場合)
△	目標値を下回った場合(目標値の90%未満の実績値の場合)

【取り組み結果(達成・未達成)の考え方】

「◎・○・△」の達成度を以下の配点とし、「達成・未達成」を判断しました。指標・目標値が複数ある場合は、その平均点が1.7点以上の場合、「達成」としました。

達成度	◎	○	△
配点	3点	2点	1点

【評価の方法】

2021年度分は5年目の最終年度のため、「町田市5ヵ年計画17-21」策定時の目標を踏まえ、以下のとおり、計画策定時に掲げた目標値に対する最終結果を評価しています。

・計画策定時

目 標	① 中小企業相談所相談・指導件数 ② 商店会等のイベント事業件数	新規/継続	継続
現状値	① 2,900件/年 ② 45件/年	目標値	① 3,000件/年 ② 45件/年

・評価の方法(例)

達成度	配点の合計	配点の平均点	取り組み結果
指標① ◎ 指標② △	①3点+② 1点=4点	4点÷2 =2点	達成

○ページの構成

各項目の構成については、次のとおりです。

【所管課】 事業を所管する課名を記載しています。	【事業番号・事業名】 各事業に付番した事業番号と事業の名称を記載しています。	【取組結果】 事業の取組結果を「達成・未達成」で示しています。
II-2-3-1 障害がい者就労支援	取組結果	達成
所管課 地域福祉部障害がい	【現状値】 計画策定時（2016年度）の現状値を記載しています。	【実績値】 計画最終年度（2021年度）の実績値を記載しています。
事業概要 障害がい者が一般企業でできるよう職場訪問	指標	達成度
【事業概要】 事業の概要を記載しています。	一般就労した障害がい者 52人/年	60人/年
【指標】 事業の達成状況を把握するための指標を記載しています。	【現状値】 計画策定時（2016年度）の現状値を記載しています。	【実績値】 計画最終年度（2021年度）の実績値を記載しています。
【指標1】 ・2017年度からセンターの運営、就業会議所等と共催で ・2017年度から2021年度は合同面接フェア※2を開催	【目標値】 計画策定時（2016年度）に設定した、計画最終年度（2021年度）の目標値を記載しています。	【達成度】 指標の達成度を「◎・○・△」で示しています。
取組内容・成果等 【取組内容・成果等】 2017年度から2021年度にかけての取組内容や、5年間の成果を指標ごとに記載しています。	【取組内容・成果等】 2017年度から2021年度にかけての取組内容や、5年間の成果を指標ごとに記載しています。	【取組内容・成果等】 2017年度から2021年度にかけての取組内容や、5年間の成果を指標ごとに記載しています。
事業費 (計画見込額)	271百万円	決算見込額 270百万円
【事業費】 計画策定時（2016年度）の計画見込額を記載しています。	【決算見込額】 事業費の総額を記載しています。	
※1 就労・生活支援部会 障害がい福祉に 織で、障害がい者の この就労・生活 とを目的として 障害がい者計画や ※2 合同面接フェア 2019年度まで実施していた「障害がい者合同就職面接会」が、新型コロナウイルスにより大規模で実施することができなくなったため、場所・日時を分散して各地域（町田・府中・八王子・相模原）のハローワーク内等で小規模に面接会を実施しました。	【用語解説】 文中の※のついた用語の解説文を記載しています。	

【まちづくり基本目標Ⅰ】

将来を担う人が育つまちをつくる

◎ 基本政策 1 安心して、楽しく子育てができるまちをつくる					
○ 政策 1 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる					
I-1-1-2		教育・保育施設の整備		取組結果	達成
所管課		子ども生活部子育て推進課			
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> 「町田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認可保育所などの整備を進めます。 20年間期間限定認可保育所※1の開設及び運営に伴う整備費・賃借料補助、既存園の定員増を伴う建替え、認定こども園※2の設置に際して整備費補助などを行い、保育施設などの整備を進め、待機児童解消と多様な保育・教育ニーズの対応を図ります。 			
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	3歳児未満の保育サービス提供率※3	32.08%	40.4%	46.4%	◎
2	3歳児未満の保育サービス定員※4	3,015人	3,438人	3,649人	○
取組内容・成果等		<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年度から2021年度にかけて、認可保育所3園、認可保育所分園1園、認定こども園1園、小規模保育所17園を整備 上記の取り組みなどにより、3歳児未満保育サービス提供率が、2016年度の32.08%から2021年度には46.4%まで増加 3歳児未満の保育サービス定員は、2016年度の3,015人から2021年度には3,649人まで増加 			
事業費(計画見込額)		2,531百万円	決算見込額	1,233百万円	

※1 20年間期間限定認可保育所

民間の土地・建物を活用し、開所期間を20年間限定とする認可保育所をいいます。

※2 認定こども園

認定こども園とは、従来の保育所と幼稚園の2つの制度の一元化を目指して創設されたもので、基本的には、保育を必要とする就学前児童を預かる保育所や幼稚園などの施設をいいます。

※3 保育サービス提供率

未就学児童数に対する、保育サービス定員の割合をいいます。

※4 保育サービス定員

保育サービス定員は、認可保育所・認証保育所・家庭的保育者・認定こども園・小規模保育事業所の定員の合計をいいます。

I-1-1-2	送迎保育ステーションの整備	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部保育・幼稚園課				
事業概要	市内広域の待機児童解消と、定員に余裕のある施設を有効活用し利用者の選択肢を増やすため、駅前という利便性の高い場所に送迎保育ステーション※1を設置し、保育所や認定こども園に送迎を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	年間延べ利用者数	—	5,000人	9,145人	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度の児童送迎開始当初1台であった運行バスを、2018年度から2台に増便し、1日あたりの利用定員を32名まで段階的に拡大 ・2021年5月からは、児童が日中在籍する施設の園バスを活用する等により、1日あたりの利用定員を37名に拡充 ・上記の取り組みにより、年間延べ利用者数は2021年度の目標値5,000人を大きく上回る9,145人となり、大幅に増加 				
事業費 (計画見込額)	479百万円	決算見込額	132百万円		

※1 送迎保育ステーション

朝と夕方、児童が日中在籍する保育所などに登・降園するまでの間、その児童を一時的に預かる保育施設をいいます。専用車両を利用して、児童を送迎保育ステーションから日中在籍する保育所などへ送迎します。

I-1-1-3	乳幼児の発達支援	取組結果	未達成		
所管課	子ども生活部子ども発達支援課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・発達面で支援が必要な乳幼児が地域の中で生活しやすくするために、研修などによる保育園などへの支援や通園先に出向いての乳幼児への支援、保護者への支援など、地域支援を充実させます。 ・保育園などに通園していて、定期的な療育を必要とする乳幼児に、週1回の児童発達支援を提供するプログラムを拡充します。 ・障がい児通所支援サービスを利用するための、障がい児支援利用計画を作成します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	地域支援の実施件数	49件	65件	46件	△
2	児童発達支援の利用者数	50人	62人	77人	◎
3	障がい児支援利用計画の新規作成数	10件/年	40件/年	8件/年	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度以降、子ども発達センターの職員が保育園・幼稚園等に訪問し、発達に支援が必要な子どもの集団生活に対する支援等の助言を行う出張相談を実施 ・2017年度から2019年度にかけては、現状値49件を上回る地域支援を実施（2017年度82件、2018年度62件、2019年度59件） ・2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で訪問を自粛した等の理由により、地域支援の実施件数は、2021年度の目標値65件を下回る46件となり、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、子ども発達センターで、未就学児を対象として日常生活における基本的な動作や集団生活への適応訓練等を行う児童発達支援事業を実施。加えて、地域の保育園・幼稚園等を利用しながら、専門的な訓練等を受けるために、定期的に子ども発達センターに通園する併行通園事業を実施 ・上記の取り組みにより、児童発達支援の利用者数は2021年度の目標値62人を上回る77人まで増加 <p>【指標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2019年度にかけては、現状値10件を上回る障がい児支援利用計画を新規作成（2017年度66件、2018年度104件、2019年度55件） ・2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、新規の訪問を自粛したり、対面による相談を控える保護者が多かった等の理由により、障がい児支援利用計画新規作成数は、2021年度の目標値40件を大きく下回る8件となり、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	17百万円	決算見込額	2百万円		

◎ 基本政策 1 安心して、楽しく子育てができるまちをつくる

○ 政策 2 楽しく子育てが出来る環境をつくる

I-1-2-1	地域における子育て相談の充実	取組結果	未達成		
所管課	子ども生活部子育て推進課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての不安や負担を軽減するため、保育園を乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として開放します。 身近な保育園を「マイ保育園」※1として登録した、在宅で育児をしている家庭に対して、子育てについての相談、情報の提供などを行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	マイ保育園実施園数	67 園	74 園	70 園	○
2	園庭・室内開放参加人数	62,488 人 (2015 年度末)	70,308 人	57,377 人	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイ保育園は、新規開設園等への実施を勧め、2016 年度の 67 園から 2021 年度には 70 園まで増加 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017 年度から 2021 年度にかけて「子育てひろば事業※2」にて、マイ保育園実施園の園庭や室内を開放 2020 年度以降は、60 園（子育てひろば実施園内訳：Ⅰ型園 18 園、Ⅱ型園 26 園、Ⅲ型園 8 園、拠点園 3 園、公立 5 園）で開放するも、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、密を避けるために園庭や室内開放の利用人数を制限したこと等により、参加者数は 2021 年度の目標値 70,308 人を下回る 57,377 人で、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	664 百万円	決算見込額	696 百万円		

※1 マイ保育園

在宅で子育てしている家庭に子育てに関する相談や情報提供などを行う認可保育所等のことをいいます。

※2 子育てひろば

在宅で子育てをしている家庭に、集いの場を提供し、親子の交流の促進や子育て支援に関する講習などを行う事業です。マイ保育園が実施しています

I-1-2-2	児童虐待の防止	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部子ども家庭支援センター				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の原因ともなる子育ての不安や負担を軽減するため、気軽に相談できる機会や育児支援ヘルパーなどのサービスの提供を行います。また、専門的なアドバイスを受けられる機関を紹介します。 ・保護者からだけでなく、子どもからの相談件数を増やすため、まこちゃんダイヤル※1や子ども向け虐待防止啓発活動（出前講座）を実施し、子どもが気軽に相談できる環境づくりを推進します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	子育て総合相談の新規相談件数	2,147 件/年	2,487 件/年	6,015 件/年	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、子ども向けや保護者向けに虐待防止啓発のための出前講座を実施、また、ホームタウンチームや大学等と連携した啓発活動を実施 ・上記の取り組みにより、気軽に相談できる環境を整えることで、子育て総合相談の新規相談件数は2016年度の2,147人から2021年度には6,015件まで大幅に増加 				
事業費 (計画見込額)	53 百万円	決算見込額	13 百万円		

※1 まこちゃんダイヤル

子どもが直接相談できる子ども専用の相談ダイヤル（フリーダイヤル）をいいます。

◎ 基本政策 2 子どもが生きる力をはぐくむまちをつくる

○ 政策 1 児童・生徒の多様な能力をはぐくむ環境をつくる

I-2-1-1	幼保小連携の推進	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部保育・幼稚園課、学校教育部指導課				
事業概要	幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続させ、子どもの発達や学びの連続性を構築していくため、町田市版アプローチカリキュラム※1 及び町田市版スタートカリキュラム※2 を作成し、町田市内の幼稚園・保育園・小学校などで実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	町田市版アプローチカリキュラム※1 策定	—	策定	策定	○
2	町田市版スタートカリキュラム※2 策定	—	策定	策定	○
取組内容・成果等	<p>【指標 1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年度に「町田市版アプローチカリキュラム」及び「町田市版スタートカリキュラム」を策定 ・幼児期の教育と児童期の教育を円滑につなげていくため、両カリキュラムを幼稚園や保育園、小学校で活用するとともに、幼保小連携の理解を深めるため、幼保小連携推進担当者連絡会や有識者の講演会を開催 				
事業費 (計画見込額)	7 百万円	決算見込額	8 百万円		

※1 アプローチカリキュラム

幼児期にはぐくみたい資質や能力の養成に視点をおいた幼児期の教育活動をいいます。

※2 スタートカリキュラム

幼児期から小学校教育への円滑な接続に視点をおいた就学期の教育活動をいいます。

I-2-1-1	学力・体力向上の推進	取組結果	未達成		
所管課	学校教育部指導課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや考えたことを分かりやすく説明できる児童・生徒を育成するため、アクティブラーニング※1（協同的探究学習）を推進するとともに、家庭学習の啓発を行います。 ・積極的に運動する児童・生徒を育成するため、学校及び家庭における運動量の増加・運動の質の向上に取り組みます。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	授業の理解度※2	小学校 79.8% 中学校 69.9%	小学校 90.0% 中学校 80.0%	小学校 84.3% 中学校 76.5%	○
2	週の運動時間※3	※4 小学校男子 58.3% 小学校女子 26.8% 中学校男子 75.8% 中学校女子 48.6%	※4 小学校男子 70.0% 小学校女子 40.0% 中学校男子 85.0% 中学校女子 60.0%	※4 小学校男子 50.3% 小学校女子 32.2% 中学校男子 73.4% 中学校女子 55.7%	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学力向上に向けて、2018年度に「町田市学力向上推進プラン（第3次）」を策定し、指導力向上リーフレットや授業観察シートを配布・活用 ・2021年度には、第3次の成果を踏まえ、児童・生徒の学力向上を学校の実態に応じて改定した「町田市学力向上推進プラン（第4次）」を策定 ・上記の取り組みにより、授業の理解度は、2015年度の小学校79.8%、中学校69.9%から、2021年度は小学校84.3%、中学校76.5%に増加 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に「町田市体力向上推進プラン（町田っ子アクティブ・プロジェクト）改訂版」を策定 ・「町田っ子 アクティブ・カレンダー」を作成し、運動習慣や健康的な生活習慣の確立を図るとともに、2020年度には小学校連合体育大会を実施 ・新型コロナウイルス感染症による、臨時休校や部活動の制限、外遊びの自粛などの影響もあり、週の運動時間は、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	50百万円	決算見込額	52百万円		

※1 アクティブラーニング

教員による一方的な講義形式の授業とは異なり、児童・生徒の能動的な学習を通して、「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業の総称です。

※2 授業の理解度

授業内容を「よく分かる」「どちらかという分かる」と回答した児童・生徒の割合を指します。

※3 週の運動時間

1週間の運動時間が7時間以上の割合を指します。

※4 週の運動時間の指標の変更

スポーツ庁が毎年度実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果に合わせ、小学校・中学校の男女別の指標に変更しました。

I-2-1-1	えいごのまちだ事業	取組結果	未達成		
所管課	学校教育部指導課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から始まる小学校英語の教科化を先行実施します。 ・授業を指導補佐する「Machida English Promotion Staff」を導入します。 ・「放課後英語教室」を全小学校で実施します。 ・ALT（外国語指導助手）の増員及び配置時間の増加を行います。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	「英検3級程度」の力がある中学校3年生の割合	43.6% (2017年度)	65.0%	58.6%	△
2	中学校2年生の英語の学力調査における東京都平均値との比較	△2.1% (2017年度)	3.0%	測定不可 (調査終了)	—
3	学校・塾・習い事以外で、外国の人がいるとき、話しかけてみたいと思う中学校2年生の割合	12.6% (2017年度)	20.0%	測定不可 (調査終了)	—
4	英語の時間が楽しいと感じる小学校5年生の割合	—	90.0%	73.9%	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1・4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員の英語授業を指導補佐する「Machida English Promotion Staff」を配置し、2020年度に全42校で巡回指導を実施するとともに、「放課後英語教室」を2020年度に全42校で実施 ・英語4技能検定「GTEC」を中学校全20校で実施 ・全小・中学校でALT（外国語指導助手）を増員及びALTの配置時間を増加 ・小・中学校において異文化体験を通して英語を学ぶイングリッシュ・フェスタを開催 ・小学校英語と中学校英語をつなぐ町田市独自の接続カリキュラムの実践 ・上記の取り組みにより、「英検3級程度」の力がある中学校3年生の割合は、2017年度の52.7%から、2021年度は58.6%に増、一方、「英語の時間が楽しいと感じる小学校5年生の割合」は2021年度の目標値90.0%を下回る73.90%となり、目標未達成 <p>【指標2・3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標に関連する東京都調査終了のため測定不可 				
事業費 (計画見込額)	—	決算見込額	733百万円		

I-2-1-2	特別支援学級の整備	取組結果	達成		
所管課	学校教育部教育センター				
事業概要	障がいの有無にかかわらず、共に学ぶ仕組みを充実させるため、小中学校に情緒障がい※1等学級の巡回指導を導入します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	小学校のコミュニケーションの教室（情緒障がい等学級）の巡回指導導入学校数	小学校 8 校	全 42 校	全 42 校 (2018 年度)	○
2	中学校の情緒障がい等学級の巡回指導導入学校数	中学校 0 校	全 20 校	全 20 校	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年度に小学校全 42 校でサポートルーム（旧コミュニケーションの教室）の巡回指導を導入 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度に中学校全 20 校でサポートルームの巡回指導を導入 				
事業費 (計画見込額)	90 百万円	決算見込額	50 百万円		

※1 情緒障がい

状況に合わない感情・気分が持続し、不適切な行動が引き起こされ、それらを自分の意思ではコントロールできないことが継続し、学校生活や社会生活に適應できない状態をいいます。

◎ 基本政策 2 子どもが生きる力をはぐくむまちをつくる

○ 政策 2 良好な教育環境をつくる

I-2-2-1	小・中学校の増改築		取組結果	達成	
所管課	学校教育部施設課・保健給食課				
事業概要	・施設の老朽化により、改修を実施するだけでは、学校としての機能を維持することができないため、建築後 50 年以上経過した学校の増改築を実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	鶴川第一小学校整備	給食棟工事	2019 年度工事終了	2019 年度工事終了	○
2	町田第一中学校整備	基本設計	2021 年度工事終了	2021 年度工事終了	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2019 年度にかけて、鶴川第一小学校の給食棟及び体育館棟の改築工事を実施 ・2019 年度に旧体育館棟の解体工事及び校庭整地工事を行い、鶴川第一小学校の整備が完了 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度に町田第一中学校の旧校舎棟の解体工事を実施 ・旧校舎棟解体後、2019 年度から 2021 年度にかけて新校舎棟の改築工事を実施 ・2021 年度に校庭整地工事及び太陽光発電設備設置工事を行い、町田第一中学校の整備が完了 				
事業費 (計画見込額)	6,544 百万円		決算見込額	6,674 百万円	

I-2-2-1	衛生・空調設備の整備	取組結果	達成		
所管課	学校教育部施設課				
事業概要	・児童・生徒の衛生環境や夏場の授業環境を改善するため、老朽化したトイレを改修し、特別教室の空調を整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	トイレの改修※1 完了 (2017年度)	51校 ※2	全62校 ※2	全62校	○
2	特別教室空調の整備完了 (2018年度)	21校 ※2	全62校 ※2	全62校 (2020年度)	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <p>・2017年度に小学校4校、中学校6校のトイレ改修工事を実施し、2021年度に町田第一中学校の改築工事が完了したことで、小・中学校全62校のトイレ改修が完了</p> <p>【指標2】</p> <p>・2017年度に中学校12校の特別教室空調設備設置工事を実施し、中学校全20校で整備完了。また、2018年度に小学校28校の特別教室に空調設備を設置し、2020年度に町田第六小学校の防音工事が完了したことで、小学校全42校で整備完了</p>				
事業費 (計画見込額)	388百万円	決算見込額	2,177百万円※3		

※1 トイレの改修

便器の洋式化や床の乾式化などをはじめ、空調設備、壁やトイレブースなどの更新をいいます。なお、2002年度以降の新設校や増改築を行った学校のトイレは、洋式便器や乾式床が整備されています。

※2 現状値及び目標値には、新築・改築などの工事で設置済・設置予定の学校数を含んでいます。

※3 決算見込額には、特別教室空調の更新工事分を含んでいます。また、町田第一中学校改築工事分と町田第六小学校防音工事分の費用は含んでいません。

I-2-2-1	教育の情報化推進	取組結果	達成		
所管課	学校教育部教育センター				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から始まる新学習指導要領に対応し、児童・生徒の学習意欲を高め、課題を見だし解決する力を育てるため、大型提示装置やタブレットなどのICT※1環境を整備し、それを活用した効果的な授業を推進します。 ・教員が子どもと向き合う時間を確保するため、学校運営支援システム※2を導入します。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	授業の理解度	小学校 79.8% 中学校 69.9%	小学校 90.0% 中学校 80.0%	小学校 84.3% 中学校 76.5%	○
2	小学校のICT環境整備校数	—	全42校	全42校 (2019年度)	○
3	中学校のICT環境整備校数	—	全20校	全20校	○
4	学校運営支援システムの導入	未導入	導入済	導入済 (2020年度)	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学力向上に向けて、2018年度に「町田市学力向上推進プラン（第3次）」を策定し、指導力向上リーフレットや授業観察シートを配布・活用 ・2021年度には、第3次の成果を踏まえ、児童・生徒の学力向上を学校の実態に応じて改定した「町田市学力向上推進プラン（第4次）」を策定 ・上記の取り組みにより、授業に理解度は、2015年度の小学校79.8%、中学校69.9%から、2021年度は小学校84.3%、中学校76.5%に増加 <p>【指標2・3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2019年度にかけて、小学校全42校のICT環境（プロジェクタ等の大型提示装置）の整備完了 ・2017年度から2021年度にかけて、中学校全20校のICT環境の整備完了 <p>【指標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度から学校運営支援システム（統合型校務支援システム）の運用を開始 				
事業費 (計画見込額)	1,927百万円	決算見込額	3,026百万円		

※1 ICT

情報通信技術をいいます。

※2 学校運営支援システム（統合型校務支援システム）

「教員が子どもと向き合う時間の増加」、「校務の標準化」を目的とした、成績処理、文書管理などの機能を持つ情報処理システムをいいます。

I-2-2-2	通学路の安全確保	取組結果	達成		
所管課	学校教育部学務課				
事業概要	児童が安全・安心に通学できるよう、町田市立小学校の通学路に防犯カメラを整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	防犯カメラを設置	27校 (2016年度末)	全42校 (2017年度)	全42校 (2017年度)	○
取組内容 ・ 成果等	【指標1】 ・2017年度に小学校15校の通学路上に75台の防犯カメラを設置することで、小学校全42校で設置完了(通学路上に計210台の防犯カメラを設置)				
事業費 (計画見込額)	55百万円	決算見込額	40百万円		

I-2-2-3	放課後の充実した活動・居場所づくりの推進	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部児童青少年課、学校教育部指導課				
事業概要	放課後の安全管理を中心に小学校41校で実施していた「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」の活動内容を一新し、運営協議会※1による、従来よりも更に内容を充実させた新たな「放課後子ども教室 まちとも※2」として全小学校で実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	新たな「まちとも」の実施校数	— (パイロット事業として2校実施中)	全42校	全42校	○
取組内容 ・ 成果等	【指標1】 ・2017年度から2021年度にかけて、従来の「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」の活動内容を一新し内容を充実させた、新たな「放課後子ども教室 まちとも」を小学校全42校で実施				
事業費 (計画見込額)	693百万円	決算見込額	644百万円		

※1 運営協議会

地域や学校の代表者などを中心として学校ごとに活動する、「まちとも」の運営を担う団体をいいます。

※2 放課後子ども教室 まちとも

放課後や長期休業時に、小学校の余裕教室や校庭などを活用し、地域の参画を得て、自由遊びだけでなく、放課後のICT機器を活用した学習活動や様々な体験活動、地域との交流活動などを行うものです。

これまでは、「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」として、放課後の校庭などに安全管理員を配置し、遊び場の見守りを実施していたものです。

I-2-2-3		地域と連携した教育活動		取組結果	達成
所管課		学校教育部指導課			
事業概要		各小・中学校に配置されているボランティアコーディネーターの連携を深めて、地域コミュニティを活性化させるため、地区統括ボランティアコーディネーター※1を配置するとともに、社会教育部門と連携して、地域ミーティング※2を実施します。			
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	地区統括ボランティアコーディネーターの人数	0人	10人	10人	○
2	地域ミーティングの実施	0回	20回	20回	○
取組内容 ・ 成果等		<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2018年度から2021年度にかけて、市内全10地区に地区統括ボランティアコーディネーターを指名 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区統括ボランティアコーディネーターが配置されている市内全10地区において、地域ミーティングを20回（10地区×各2回）実施 2021年度は、地区統括ボランティアコーディネーターの役割について相互理解を深めるため、地区統括ボランティアコーディネーターミーティングを年5回実施 			
事業費 (計画見込額)		167百万円	決算見込額	120百万円	

※1 地区統括ボランティアコーディネーター

地域の総合窓口となる役割を果たすボランティアコーディネーター（学校支援ボランティアの管理をする者）をいいます。各地区の小中学校に配置されているボランティアコーディネーターの連絡・調整・人材育成のほか、地区ミーティングの開催や地区のボランティア情報の共有を図るなど、地区のとりまとめを行います。

※2 地域ミーティング

ボランティアコーディネーターが持つ情報を共有するため、各地区で実施するミーティングをいいます。地区割りで実施しているミーティング活動のため、「地域ミーティング」を「地区ミーティング」に名称変更しました。

◎ 基本政策 3 生涯にわたって学び、成長できるまちをつくる

○ 政策 1 青少年の健やかな成長を支える環境をつくる

I-3-1-1	学童保育クラブの整備	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部児童青少年課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育クラブ入所児童数の増加により、施設が狭あい化※1 したり、衛生設備が不足する学童保育クラブの解消に向けて、計画的に整備します。 ・老朽化した学童保育クラブの施設を、計画的に改修・更新します。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	狭あい化を解消する学童保育クラブ数 (2017年4月現在)	0クラブ (狭あい化したクラブ数3クラブ (2017年4月))	3クラブ	5クラブ	◎
2	老朽化を解消する学童保育クラブ数 (2017年4月現在)	0クラブ (老朽化したクラブ数6クラブ (2017年4月))	6クラブ	4クラブ	△
取組内容・成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に狭あい化した3クラブ（南大谷小学校区学童保育クラブ、南つくし野小学校区学童保育クラブ、鶴川第三小学校区学童保育クラブ）を解消する工事を実施し、完了 ・2020年度には、新たに狭あい化の解消が必要となった2クラブ（中央学童保育クラブ、南第一さくら学童保育クラブ）の工事を実施し、完了 ・上記の取り組みにより、狭あい化を解消する学童保育クラブ数は、2021年度目標3クラブを上回る5クラブ実施 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に、鶴川第三小学校区の学童保育クラブの改修工事完了 ・2018年度に、小川小学校区の学童保育クラブの改修工事完了 ・2019年度に、藤の台小学校区の学童保育クラブの改修工事完了 ・2021年度に、大蔵小学校区の学童保育クラブの改修工事完了 ・上記の取り組みにより、老朽化を解消する学童保育クラブ数は、2021年度の目標値6クラブを下回る4クラブとなり、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	369 百万円	決算見込額	259 百万円		

※1 狭あい化

児童数の増加等により、児童一人当たりの専有面積が1.65㎡を下回っている、又は下回る恐れがあることを「狭あい化」と定義しています。狭あい化した学童保育クラブを解消するためには、施設を増設したり、学校の余裕教室を活用したりするなど、保育するスペースを拡張する必要があります。

I-3-1-1	放課後の充実した活動・居場所づくりの推進 (再掲事業)	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部児童青少年課、学校教育部指導課				
事業概要	放課後の安全管理を中心に小学校 41 校で実施していた「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」の活動内容を一新し、運営協議会※1 による、従来よりも更に内容を充実させた新たな「放課後子ども教室 まちとも※2」として全小学校で実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	新たな「まちとも」の 実施校数	— (パイロット事業 として 2 校実施 中)	全 42 校	全 42 校	○
取組内容 ・ 成果等	【指標 1】 ・2017 年度から 2021 年度にかけて、従来の「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」の活動内容を一新し内容を充実させた、新たな「放課後子ども教室 まちとも」を小学校全 42 校で実施				
事業費 (計画見込額)	693 百万円	決算見込額	644 百万円		

※1 運営協議会

地域や学校の代表者などを中心として学校ごとに設置する、「まちとも」の運営を担う団体をいいます。

※2 放課後子ども教室 まちとも

放課後や長期休業時に、小学校の余裕教室や校庭などを活用し、地域の参画を得て、自由遊びだけでなく、放課後の ICT 機器を活用した学習活動や様々な体験活動、地域との交流活動などを行うものです。

これまでは、「放課後等子ども遊び場見守り事業 まちとも」として、放課後の校庭などに安全管理員を配置し、遊び場の見守りを実施していたものです。

I-3-1-1	子どもたちの「豊かな遊び」を実現する場づくり	取組結果	未達成		
所管課	子ども生活部児童青少年課				
事業概要	子どもたちが自分の責任で自由に遊び、体験、挑戦、異年齢の人とのかかわりなど、さまざまな体験を通して心豊かに育つ身近な場として、「常設型冒険遊び場※1」を設置します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	常設型冒険遊び場の 箇所数	2 箇所	5 箇所	4 箇所	△
取組内容 ・ 成果等	【指標 1】 ・2017 年度に谷戸池公園、2019 年度に三ツ目山公園に常設型冒険遊び場を設置 ・常設型冒険遊び場の箇所数は、2021 年度の目標値 5 箇所を下回る 4 箇所となり、目標未達成 ・2021 年度は、南地区常設型冒険遊び場の設置に向けて、松葉谷戸公園にて定期開催型冒険遊び場の試行を開始し、利用状況の分析やアンケート調査に基づくニーズ把握を実施				
事業費 (計画見込額)	94 百万円	決算見込額	78 百万円		

※1 常設型冒険遊び場

主に市内の公園などで週 4 日以上開催される冒険遊び場をいいます。

I-3-1-1	子どもの活動拠点の整備	取組結果	未達成		
所管課	子ども生活部児童青少年課				
事業概要	基幹型施設である子どもセンターの整備は完了しましたが、遠距離などの理由から日常的な利用が困難な児童のため、需要の高い中学校区から子どもクラブを整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	子どもクラブ施設数	2 施設	7 施設	6 施設	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度に木曽子どもクラブ「きそっち」、2019 年度に南町田子どもクラブ「つみき」と小山子どもクラブ「さん」、2020 年度に三輪子どもクラブ「MIWA～GO」の 4 館を整備・開館 ・2021 年度は、7 館目にあたる小山田子どもクラブを整備予定だったが、木材の価格高騰や供給不足により、整備工事の入札が不調となり、目標未達成 ・小山田子どもクラブについては、整備手法及びスケジュールを見直しの上、2022 年度に整備工事に着手し、2023 年 7 月に開館予定 				
事業費 (計画見込額)	913 百万円	決算見込額	571 百万円		

I-3-1-1	子どもの参画の推進	取組結果	達成		
所管課	子ども生活部児童青少年課				
事業概要	町田市の将来を担う子どもたちが主体的に「まちづくり」に参画し、意見を反映できる仕組みを作ります。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	子どもの参画の推進 (会議等開催)	—	年 5 回	年 6 回	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田の未来を考える若者グループ「町田創造プロジェクト (MSP)」がまちづくりに参画し、庁内 3 事業の検討課題について意見表明 (計 3 回) ・「町田創造プロジェクト (MSP)」が若者の主体的な参画として、若者の SNS の利用に関するアンケート調査結果の展示を実施 (計 1 回) ・若者が市長と語る会を子どもセンター 2 館で実施 (計 2 回) ・上記の取り組みにより、子どもの参画の推進 (会議等開催) は、目標値である年 5 回を上回り、年 6 回を実施 				
事業費 (計画見込額)	4 百万円	決算見込額	206 千円		

【まちづくり基本目標Ⅱ】

安心して生活できるまちをつくる

◎ 基本政策1 健康に生活できるまちをつくる

○ 政策1 市民の健康を増進する

II-1-1-1	食育の推進	取組結果		達成	
所管課	保健所保健予防課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田市食育推進計画」※1に基づき、市民自らが健全な食生活を実現できるようにするため、市民、関係機関・団体、行政などが食のネットワークを構築し、食育を協働で推進することにより、食を通じたまちづくりを進めます。 ・「まちだすいとん」※2の普及により町田の郷土料理としての伝承と町田産野菜の普及啓発、並びに野菜摂取量の増加を目指します。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	1日の野菜摂取量の増加	250g	300g	公表時点で調査未実施	—
2	「まちだすいとん」の延べ提供数	300食/ 2年 ※3	15,000食/5年	27,131食/5年	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、健全な食生活の実現に向けた食育月間、食育の日イベントを実施するほか、SNS、デジタルサイネージ、動画を活用し、食育関係機関・団体及び庁内部署と連携して食育普及啓発を実施 ・1日の野菜摂取量については、2022年度の保健医療計画策定の市民調査において把握予定であるため、公表時点で調査未実施 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する研修会等で「まちだすいとん」に関する給食提供の働きかけを実施し、5年間で12の小学校や保育園等の給食で提供 ・上記の取り組みにより、「まちだすいとん」の延べ提供数は、5年間で2021年度の目標15,000食を大きく上回る27,131食となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	19百万円	決算見込額		13百万円	

※1 町田市食育推進計画

食育基本法に基づき、市民、関係機関、行政などが食のネットワークを構築し、町田市の地域特性を活かした食育推進事業を協働することで、食を通じたまちづくりを目指すため2013年12月に策定した計画です。

2020年3月に第2次町田市食育推進計画を策定しました。

※2 まちだすいとん

地域に伝わる料理法を基に市でレシピを作成したものです。

①野菜を1人分100g以上使用します。

②豚肉、油揚げ、長ネギは必ず使用し、その他に季節の町田産野菜を使用します。

※3 300食

2015年度、2016年度食育フェアにおける「まちだすいとん」の提供数です。

II-1-1-1	がん予防対策の推進	取組結果	達成		
所管課	保健所健康推進課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市民の死因第1位である“がん”の予防対策を推進します。 ・効果的、効率的ながん検診や普及啓発を実施するとともに、専門医などと協議を行い、受診しやすい環境づくりを推進します。 ・若年層からの、がんの正しい知識の普及を図るため、がん教育を実施します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	職域※1に向けたがんの予防普及啓発	未実施	年2回	年2回	○
2	働き盛り世代ががん検診を受けた割合	—	大腸がん検診40%、 乳がん検診50%、 子宮頸がん検診50%	公表時点で実績値未確定	—
取組内容・成果等	<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度と2018年度に商工会議所ニュースへの記事掲載 ・2018年度から2020年度にかけて、町田商工会議所の会報に受診勧奨チラシを同封 ・2018年度以降、協定締結企業や配布協力企業による受診勧奨チラシの配布 ・2019年度以降、町田市介護人材開発センターと連携し、メールにて会員へ勧奨 ・2017年度から2021年度にかけて、毎年がん検診の受診勧奨チラシの作成、がん予防対策検討会及び個別受診勧奨を実施 ・働き盛り世代ががん検診を受けた割合は、2022年11月に実績値確定予定 				
事業費 (計画見込額)	1,528百万円	決算見込額	1,278百万円		

※1 職域

勤務先や加入している健康保険でがん検診を受ける機会がある方を指します。

II-1-1-1	健康増進施設の整備	取組結果	達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	<p>新たな熱回収施設（ごみの焼却施設）で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設を室内プール敷地内に整備します。</p>				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	温浴施設の整備	—	整備完了	整備完了	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から学識者や地域住民等で組織された「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」や、地域住民の代表で構成される「町田リサイクル文化センター周辺地域まちづくり協議会」とともに、幅広い世代が利用できる施設整備について検討を重ね、健康増進温浴施設を設計 ・2019年度に整備工事に着手、2021年12月に整備完了し、2022年4月にオープン 				
事業費 (計画見込額)	550百万円	決算見込額	1,076百万円		

II-1-1-2	心の健康づくり	取組結果	達成		
所管課	保健所健康推進課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「自殺対策基本法」※1 及び「町田市自殺総合対策基本方針」※2 に基づき、自殺防止に関する事業を実施します。 ・保健、医療、福祉、教育、労働などの機関と有機的な連携を図り、生きることの包括的な支援を行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	自殺死亡率※3 の減少	18.3 (2013年～2015年における人口10万人当たりの自殺者数の平均値)	17.3 (2017年～2020年における人口10万人当たりの自殺者数の平均値)	14.8	○
2	事業者に対して行う心の健康づくり普及啓発	未実施	年2回	年2回	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、町田市自殺対策計画に基づき、ゲートキーパー養成講座や総合相談会、啓発標語等事業、自殺に関連するグーグル検索対応事業、啓発協力団体による自殺対策の普及啓発を実施 ・上記の取り組みにより、人口10万人当たりの自殺者数は、18.3(2013年～2015年の平均値)から14.8(2017年～2020年の平均値)と、目標値17.3を下回り、目標達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、町田商工会議所及び町田市介護人材開発センターと連携したゲートキーパー養成講座を年2回実施 				
事業費 (計画見込額)	24 百万円	決算見込額	21 百万円		

※1 「自殺対策基本法」

誰も自殺に追い込まれない社会の実現をめざすため、2006年10月に施行された法律です。

(2016年3月改正)

※2 「町田市自殺総合対策基本方針」

自殺防止に向け、市、市民、関係者が共通認識を持ち取り組むため、2013年6月に策定された町田市の基本方針です。

※3 自殺死亡率

2017年度の実績値から、厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地)」のデータを使用しています。

◎ 基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる

○ 政策1 高齢者がいきいきと生活できる環境をつくる

Ⅱ-2-1-1	元気高齢者の活躍推進	取組結果	達成		
所管課	いきいき生活部いきいき総務課				
事業概要	アクティブシニア※1の地域における活躍を推進するため、介護事業所などでの就労を支援する制度を構築します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	アクティブシニアの施設就労人数	—	40人/年	50人/年	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、研修や資格取得による就労促進、介護人材バンクによる各市民センターでの出張就労相談会、市内介護事業所等を集めた相談面接会・マッチング等を実施 ・上記の取り組みにより、アクティブシニアの施設就労人数は、2021年度の目標40人を上回る50人となり、目標達成 <p>※なお、アクティブシニアの施設就労支援に関する2事業のうち、1事業については当該事業の受託先法人が、2019年度から自主事業として継承</p>				
事業費 (計画見込額)	80百万円	決算見込額	68百万円		

※1 アクティブシニア

本事業では概ね50歳以上の元気な方をいいます。

II-2-1-2	子どもと高齢者の体力向上推進事業	取組結果	未達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	子どもの体力低下対策や、高齢化社会における健康寿命延伸のため、多世代に対してアプローチできる地域スポーツクラブ※1 などが主体となって各種スポーツ教室を実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	教室事業の参加者数 (子ども対象)	34,282 人	40,000 人	25,000 人	△
2	教室事業の参加者数 (高齢者対象)	27,450 人	30,000 人	18,000 人	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブによる新しい「まちとも」との連携による運動遊びプログラムを提供 指定管理者、スポーツ推進委員等による子ども向け教室事業を実施 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブによる高齢者対象の出張教室を開催 スポーツ推進委員との連携による高齢者向け教室事業を実施 総合体育館、室内プール指定管理者による高齢者向け教室事業を実施 <p>【指標 1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019 年度から 2020 年度にかけて、新型コロナウイルス感染症等の影響で教室事業を実施することが困難な期間があり、子ども、高齢者ともに参加者数が大幅に減少 2021 年は教室を順次再開し、子どもは 25,000 人、高齢者は 18,000 人まで持ち直したが、目標未達成 新しい生活様式に対応した「自宅でできる運動動画」等を作成し、市ホームページで公開 				
事業費 (計画見込額)	8 百万円	決算見込額	5 百万円		

※1 地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで（多世代）、さまざまなスポーツを愛好する人々が（多種目）、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

◎ 基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる

○ 政策2 高齢者が住み慣れた地域で生活できる環境をつくる

Ⅱ-2-2-1	地域包括ケアの推進	取組結果	未達成		
所管課	いきいき生活部いきいき総務課・高齢者福祉課				
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、地域包括ケアシステム※1を推進し、介護、医療、生活支援などの事業を充実していきます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	認知症初期集中支援チーム※2 事業訪問件数	144 件	150 件	68 件	△
2	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト（以下「町プロ」）※3 構成団体数	12 団体	15 団体	16 団体	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2021 年度にかけて、市内 12 箇所の高齢者支援センターへ寄せられた認知症に関する相談のうち、医療受診や介護サービスに結びついていないケースについて、認知症初期集中支援チームがその高齢者や家族のもとへ訪問を実施 ・高齢者支援センターの認知症の支援力が向上したことで、初期集中支援チームで対応せずとも、各支援センターが単独での支援が可能になった ・上記の取り組みにより、初期集中支援チームでの訪問件数が当初の想定より大幅に減少し目標未達成であるものの、町田市全体の認知症の対応力向上に寄与 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町プロ推進協議会を定期的開催。取り組み内容に応じて部会を設置し、多職種で検討を行い、連携ツールの作成・活用促進や研修会の開催等を実施 ・町プロのシンボルマークの作成等により、専門職及び市民に対して取り組みを周知 ・上記の取り組みを 2017 年度から 2021 年度にかけて実施した結果、町プロの構成団体は、目標の 15 団体を上回る 16 団体で目標達成 <p>【指標 1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定及び進捗評価の一体化 				
事業費 (計画見込額)	527 百万円	決算見込額	502 百万円		

※1 地域包括ケアシステム

在宅での生活に必要な 5 つの要素である医療・介護・介護予防・住まい・生活支援に関するサービスを必要に応じて利用することで、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けることを目指す考え方をいいます。

※2 認知症初期集中支援チーム

医療・介護の専門職で構成されたチームをいいます。認知症になっても医療受診や介護サービスに結びつかない高齢者や家族のもとへ訪問し、認知症に関する様々な相談に対応します。

※3 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

通称「町プロ」、医療と介護の代表者が連携し、在宅療養を普及するとともに、高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らせる仕組みを作るための組織をいいます。

II-2-2-1	介護の担い手育成	取組結果	達成		
所管課	いきいき生活部いきいき総務課				
事業概要	介護人材の確保、育成、就労継続のため、研修や面接会などの事業に対する支援を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	研修参加者数	1,091人/年	1,500人/年	1,807人/年 (5カ年平均)	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護人材を確保するため、介護の入門的研修、就職面接会、マッチング等を実施 介護人材を育成するため、職種別、職層別など、対象に応じた研修を実施 介護人材の定着を支援するため、事業所の垣根を超えた情報交換の場である、まちけあカフェや研修発表会を開催 市内の介護事業所等で働いている、または働いてみたい外国人を対象に、介護の日本語教室を実施 研修参加者数について、5年間のうち、3年間は目標値を大幅に上回る成果を達成。新型コロナウイルス感染症の影響により、介護従事者を対象とした研修実施やイベント開催が困難となり、研修参加者数は減少したが、イベントについては動画配信に替えるなどの工夫を行い、研修参加とは別に733回の視聴あり 上記の取り組みを2017年度から2021年度に実施した結果、5カ年平均で研修参加者数が1,807人となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	61百万円	決算見込額	69百万円		

II-2-2-1	良質な施設介護サービスの提供の推進	取組結果	未達成		
所管課	いきいき生活部介護保険課				
事業概要	介護事業所職員の意欲の向上を図るとともに良質な介護サービスを継続的に提供するため、対象施設※1入所者の要介護度改善が図られた場合に、サービスの質を評価し奨励金を交付します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	要介護度の改善者数	—	850人	578人	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年度から2021年度にかけて、介護事業所職員の意欲の向上を図るため、事業所連絡会に出席し、介護事業者に対して、事業内容の周知及び協力依頼を実施 上記の取り組みにより、良質な介護サービスの提供につながり、5年間で要介護度の改善者数は、578名となったほか、全特別養護老人ホーム23施設中、21施設から奨励金の交付申請あり 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、同じ要介護度を1年間延長することが介護保険法で可能となった結果、対象者数が減少し、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	191百万円	決算見込額	85百万円		

※1 対象施設

市内の特別養護老人ホームと地域密着型特別養護老人ホームをいいます。

II-2-2-1	成年後見制度利用支援	取組結果	未達成		
所管課	地域福祉部福祉総務課				
事業概要	判断能力が低下した方も、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、成年後見制度の利用を支援します。また、成年後見制度の利用を促進するため、地域を支える市民後見人を育成し、その活動を支援します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	市民後見人累計登録者数	24名	100名	74名	△
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4期(2019～2020年度)研修から、開催曜日の変更や年齢制限の撤廃といった受講要件の緩和、オンラインや動画配信といった工夫をし、研修を実施 ・2020年度に、ケアマネジャーや弁護士といった外部の専門家を構成員に入れる、全国的にも先進的な取り組みとなる権利擁護支援検討委員会を立ち上げ、継続的に開催 ・既に市民後見人として登録されている方のフォローアップ研修を定期的実施 ・市民後見人育成委員会にて後見人等候補者に市民後見人がふさわしいケースを検討し、登録済の方の活躍を推進 ・2021年度からは、市民後見人育成研修として第5期基礎研修を実施 ・上記の取り組みにより、市民後見人登録者数は、第4期(2019～2020年度)実務者研修修了者の登録が進んだものの、第3期(2017～2018年度)の受講者数の減少が影響し、目標未達成 				
事業費(計画見込額)	211百万円	決算見込額	262百万円		

II-2-2-2	介護施設整備	取組結果	達成		
所管課	いきいき生活部いきいき総務課				
事業概要	介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、高齢者福祉施設の整備に対する支援を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	地域密着型サービス※1施設数(地域密着型通所介護を除く)	53施設	63施設	63施設	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、認知症高齢者グループホームや小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護の施設を整備 ・上記の取り組みにより、地域密着型サービス施設数は、2021年度目標値の63施設を整備し、目標達成 				
事業費(計画見込額)	648百万円	決算見込額	554百万円		

※1 地域密着型サービス

認知症高齢者やひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるなかで、介護が必要になっても可能な限り住み慣れた地域での生活を継続できるようにするために町田市民が利用できるサービスをいいます。

◎ 基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる

○ 政策3 障がい者がその人らしく生活できる環境をつくる

II-2-3-1	障がい者就労支援	取組結果	達成		
所管課	地域福祉部障がい福祉課				
事業概要	障がい者が一般企業に就労できるよう、職業相談やハローワークへの同行、職場に定着できるよう職場訪問などの障がい者の就労支援を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	一般就労した障がい者数	52人/年	60人/年	65人/年	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、障がい者就労・生活支援センターと就労支援センターの運営、就労・生活支援部会※1を通じた関係機関の連携強化のほか、町田商工会議所等と共催で「障がい者雇用促進セミナー」を開催 ・2017年度から2019年度は、ハローワークと共催で障がい者合同就職面接会を開催、2021年度は合同面接フェア※2を開催 ・2018年4月の障害者雇用促進法の改正で法定雇用率が引き上げられた結果、2019年度の新規就労者数は90人となり、大幅に増加 ・2020年度から2021年度にかけて、新型コロナウイルスによる求人・採用の縮小や感染不安による就職活動の減少がみられたが、オンラインでの支援に取り組むとともに代替の就職イベントも開催したことにより、2021年度の目標値60人を上回る65人となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	271百万円	決算見込額	270百万円		

※1 就労・生活支援部会

障がい福祉について総合的に議論する会議体として設置された「町田市障がい者施策推進協議会」の下部組織で、障がい者の就労に関わる事項を検討する部会として設置された会議体のことをいいます。

この就労・生活支援部会は、障がい者の就労支援を進めるために、市を含めた関係団体で情報共有をすることを目的としています。

障がい者計画や、障がい福祉事業計画等の策定に当たっては各機関の専門的見地を元に検討を行います。

※2 合同面接フェア

2019年度まで実施していた「障がい者合同就職面接会」が、新型コロナウイルスにより大規模で実施することができなくなったため、場所・日時を分散して各地域（町田・府中・八王子・相模原）のハローワーク内等で小規模に面接会を実施しました。

◎ 基本政策2 みんなが支え合うまちをつくる

○ 政策5 みんなが福祉に携わる環境をつくる

Ⅱ-2-5-1	介護の担い手育成（再掲事業）	取組結果	達成		
所管課	いきいき生活部いきいき総務課				
事業概要	介護人材の確保、育成、就労継続のため、研修や面接会などの事業に対する支援を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	研修参加者数	1,091 人／年	1,500 人／年	1,807 人／年 (5カ年平均)	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護人材を確保するため、介護の入門的研修、就職面接会、マッチング等を実施 介護人材を育成するため、職種別、職層別など、対象に応じた研修を実施 介護人材の定着を支援するため、事業所の垣根を超えた情報交換の場である、まちけあカフェや研修発表会を開催 市内の介護事業所等で働いている、または働いてみたい外国人を対象に、介護の日本語教室を実施 研修参加者数について、5年間のうち、3年間は目標値を大幅に上回る成果を達成。新型コロナウイルス感染症の影響により、介護従事者を対象とした研修実施やイベント開催が困難となり、研修参加者数は減少したが、イベントについては動画配信に替えるなどの工夫を行い、研修参加とは別に733回の視聴あり 上記の取り組みを2017年度から2021年度に実施した結果、5カ年平均で研修参加者数が1,807人となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	61 百万円	決算見込額	69 百万円		

Ⅱ-2-5-1	地域福祉活動支援	取組結果	達成		
所管課	地域福祉部福祉総務課				
事業概要	互いに支え合い、誰もが自分らしく、暮らし続けていくことができるまちの実現に向けて、地域が主体となって、地域の課題を解決するための地域福祉活動を支援します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	地区別の懇談会参加者数	252 名 (2015 年度)	1,000 名	1,119 名	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年度から2019年度にかけて、地区別懇談会を市内10地区で毎年開催 2020年度から2021年度は、コロナ禍での地区別懇談会の開催に向け、オンライン会議など様々な手法を検討したものの、感染拡大の影響により、地区別懇談会が未開催 2019年度までの地区別懇談会で、累計参加者数が目標値1,000名を上回る1,119名に達したため、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	29 百万円	決算見込額	26 百万円		

Ⅱ-2-5-1	成年後見制度利用支援（再掲事業）	取組結果	未達成		
所管課	地域福祉部福祉総務課				
事業概要	判断能力が低下した方も、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、成年後見制度の利用を支援します。また、成年後見制度の利用を促進するため、地域を支える市民後見人を育成し、その活動を支援します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	市民後見人 累計登録者数	24名	100名	74名	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4期(2019～2020年度)研修から、開催曜日の変更や年齢制限の撤廃といった受講要件の緩和、オンラインや動画配信といった工夫をし、研修を実施 2020年度に、ケアマネジャーや弁護士といった外部の専門家を構成員に入れる、全国的にも先進的な取り組みとなる権利擁護支援検討委員会を立ち上げ、継続的に開催 既に市民後見人として登録されている方のフォローアップ研修を定期的実施 市民後見人育成委員会にて後見人候補者に市民後見人がふさわしいケースを検討し、登録済の方の活躍を推進 2021年度からは、市民後見人育成研修として第5期基礎研修を実施 上記の取り組みにより、市民後見人登録者数は、第4期(2019～2020年度)実務者研修修了者の登録が進んだものの、第3期(2017～2018年度)の受講者数の減少が影響し、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	211百万円	決算見込額	262百万円		

Ⅱ-2-5-1	障がい者相談支援の充実	取組結果	達成		
所管課	地域福祉部障がい福祉課				
事業概要	障がい者が地域で自分らしく生活していけるよう、障がい者支援センターの専門スタッフが、障がい者や家族の身近な場所で様々な相談に応じ、必要な情報提供、助言、福祉サービスの利用支援を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	サービス等利用計画※1 相談支援実施累計人数	750人	1,200人	1,534人	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者が地域で自分らしく生活していけるよう、障がい者支援センターの専門スタッフが、障がい者や家族の身近な場所で様々な相談に応じ、必要な情報提供、助言、福祉サービスの利用支援等を実施 市内5地域の障がい者支援センターが相談を受け、相談支援事業所に障がい者サービス等利用計画策定を依頼 相談支援事業所連絡会を年3回開催し、研修等を実施することで支援力を強化 相談支援事業所が5年間で11施設増設したことに伴い、施設に配置される相談支援専門員を確保 上記の取り組みを2017年度から2021年度にかけて実施した結果、相談支援実施累計人数は、2021年度の目標値1,200人を大きく上回る1,534人となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	670百万円	決算見込額	679百万円		

※1 サービス等利用計画

障がい者が自立した生活を送るために、どのようなサービスをどのように利用するか、明らかにする計画をいいます。

◎ 基本政策3 地域で充実した生活を送れるまちをつくる

○ 政策1 地域のつながりを高める

未来づくりプロジェクト

II-3-1-1	新たな地域協働の推進	取組結果	達成		
所管課	市民部市民協働推進課				
事業概要	協働による地域社会づくりを推進するにあたり、地域の様々な課題を解決するため、地域で活動する団体が効率的、効果的な活動を展開できるように支援する体制を創設します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	支援を行ったことで、活動の活性化につながった団体数※1	—	30 団体	65 団体	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市地域活動サポートオフィスを2019年4月に設立し、団体からの相談受付や講座の実施を通じて、顕在化していないニーズの把握、団体間の連携・協働の促進及び組織基盤を強化 ・町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」を中心に、複数の団体による協働イベントの開催や動画の作成などの新たな挑戦への支援を実施 ・相談受付やワークショップ、団体が事業計画を策定するための連続セミナーなどの講座を開催し、団体に寄り添った支援を実施 ・上記の取り組みを2017年度から2021年度にかけて実施した結果、5年間で2021年度の目標値30団体を大きく上回る65団体の活動が活性化し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	50 百万円	決算見込額	83 百万円		

※1 活動の活性化につながった団体数

他の団体との連携・協力や新規事業の立ち上げなど、活動の幅が広がったり、組織の強化につながったりした場合の団体数を指します。

II-3-1-1	市民協働・地区協議会への支援	取組結果	達成		
所管課	市民部市民協働推進課				
事業概要	地域と行政が未来像を共有し、地域で活動する団体が協力、連携し持続的、自立的な地域社会を築くため、地区協議会の設立及びその活動を支援します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	地区協議会の事業を支えるスタッフ数	707人	5,000人	10,224人	◎
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、地区協議会の活動についての広報誌やPR動画を作成するほか、各地区の横のつながりづくりを目的として、地区協議会の情報交換会や活動報告会を実施し、その当日の様子についてYouTubeやFacebookを通じたライブ動画配信を実施 ・2019年度は、地域の課題を解決する新たなアイデアを創出するため、地区協議会の構成団体のメンバーや企業等、様々な主体を招き、対話を通じて課題解決の手法を学ぶワークショップを開催 ・2020年度以降、地域課題解決を行うまちづくりプロジェクトとして、「まちだをつなげる30人」プロジェクトを実施。地域課題の解決を目指し、計15のプロジェクトが立ち上がる ・上記の取り組みや地区協議会構成団体の増加により、地区協議会の事業を支えるスタッフ数は、5年間で2021年度の目標値5,000人を大きく上回る10,244人となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	57百万円	決算見込額	38百万円		

II-3-1-2	地域コミュニティ施設整備	取組結果	未達成		
所管課	市民部市民総務課、道路部道路整備課				
事業概要	地域で活動している市民団体や文化芸術活動を行う団体などに活動の場を提供し、人と人がつながって地域活動を支えるまちをつくるため、老朽化した玉川学園コミュニティセンターを建て替えます。また、玉川学園前駅北口から玉川学園コミュニティセンターへのアクセス向上及び地域のバリアフリー化を図るため、駅からコミュニティセンターをつなぐデッキを整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	玉川学園コミュニティセンター及びデッキの整備	玉川学園コミュニティセンター改築基本設計作成及びデッキ概略設計完了	使用開始 (2019年度)	使用開始 (2021年度)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年7月に玉川学園コミュニティセンター、デッキ設置に関する設計実施及び玉川学園コミュニティセンター建替関連用地を購入 ・2019年2月に隣接する玉川学園購買部ビルに連絡所機能を移転し行政窓口業務を継続し、旧・玉川学園コミュニティセンター解体工事に着手 ・玉川学園コミュニティセンター建替えスケジュールの見直し、デッキ築造工事請負契約等に遅れが生じたため、2019年には目標達成に至らず ・2021年5月に玉川学園コミュニティセンターリニューアルオープンし、玉川学園前駅と玉川学園コミュニティセンターをつなぐデッキ開通 ・上記の取り組みにより、予定していた2019年度での使用開始とはならなかったが、2021年度にコミュニティセンター使用開始及びデッキ開通 				
事業費 (計画見込額)	1,599 百万円	決算見込額	1,803 百万円		

◎ 基本政策4 安全に生活できるまちをつくる

○ 政策1 災害に強いまちづくりを進める

Ⅱ-4-1-1	地域の防災リーダーの育成	取組結果	達成		
所管課	防災安全部防災課				
事業概要	地域の自主的な防災活動の更なる充実を図るため、防災リーダー育成事業で養成した自主防災リーダーのフォローアップ講習会を実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	自主防災組織リーダー フォローアップ講習会 修了者（5カ年累計）	—	130 人	180 人	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2019 年度にかけて、避難施設個々のニーズに沿ったフォローアップのため、避難施設の実情や被災した体験談、要配慮者への対応、感染症対策をテーマに、自主防災組織リーダーに対する講習会を実施 ・2020 年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン形式による講話をするなど、工夫しながら講習会を実施 ・上記の取り組みにより、自主防災組織リーダーフォローアップ講習会の 5 カ年の累計修了者数は、目標値 130 人を上回る 180 人となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	7 百万円	決算見込額	6 百万円		

II-4-1-2	地震対策	取組結果		達成	
所管課	都市づくり部住宅課、下水道部下水道整備課・水再生センター				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震による建築物の倒壊で、緊急輸送道路※1 が閉塞することを防ぐため、東京都の条例で耐震診断の実施が義務付けられている緊急輸送道路沿道建築物※2 に耐震化費用の一部を助成することで耐震化を促進します。 ・大規模地震による被害を最小限にするため、耐震性が不足している可能性が高い旧耐震基準（1981年5月以前）で建築された木造戸建住宅及び分譲マンションの耐震化を促進します。 ・重要な汚水幹線など※3 の耐震化を図ります。 ・大規模地震の被害を最小限にするため、成瀬・鶴見川クリーンセンターの耐震化を行います。 ・避難施設の衛生面を保ち、被災時の市民の健康を守るためマンホールトイレを整備します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	58.9%	82.0%	68.4%	△
2	住宅の耐震化率	85.8%	95.0%	91.1%	○
3	重要な汚水幹線などの耐震化率	28.0%	76.3%	100%	◎
4	下水処理場建築物の耐震化率	56.7%	60.1%	60.1%	○
5	マンホールトイレ設置施設数	16 施設	48 施設	49 施設	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震化工事の普及活動は行なったものの、5年間で耐震改修工事は6件で、耐震化率は2021年度の目標値82.0%を下回る68.4%となり、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年間で、木造住宅159棟、分譲マンション31棟の耐震改修工事を実施し、耐震化率は91.1%となり、概ね目標を達成 <p>【指標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に実施した耐震診断結果をもとに耐震性能の有無を見直したことにより、耐震化が必要な管きよが縮減し、重要な汚水幹線などの耐震化率は100%となり、目標達成 <p>【指標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成瀬クリーンセンターの管理棟や次亜塩素酸タンク棟などの耐震補強工事が完了し、耐震化率は60.1%となり、目標達成 <p>【指標5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホールトイレの設置施設は、2021年度目標値48施設を上回る49施設となり、目標達成（避難施設の約70%で整備完了） 				
事業費 (計画見込額)	①366 百万円 ②⑤1,244 百万円 ③1,222 百万円 ④426 百万円		決算見込額	①109 百万円 ②613 百万円 ③103 百万円 ④1,030 百万円 ⑤557 百万円	

※1 緊急輸送道路

地震直後から発生する緊急輸送などを円滑に行うための道路として東京都地域防災計画に位置付けられた道路です。市内では主に町田街道や鎌倉街道などが該当します。

※2 緊急輸送道路沿道建築物

緊急輸送道路に敷地が接する建築物のうち、旧耐震基準（1981年5月以前）で建築された一定高さ以上の建築物をいいます。

※3 重要な汚水幹線など

以下の管路を指します。

なお、枝線については、公益社団法人日本下水道協会発行の「下水道施設の耐震対策指針と解説（2014年度版）」を基に耐震性能を確認した管路が含まれます。

- (1) 1996年以前に布設された幹線管路
- (2) 避難施設から排水を受ける枝線
- (3) 災害拠点連携病院からの排水を受ける枝線
- (4) 要介護者施設から排水を受ける枝線
- (5) 河川・軌道下を横断する管路
- (6) 緊急輸送路などに埋設されている枝線

II-4-1-2		雨水管整備		取組結果	達成
所管課		下水道部下水道整備課			
事業概要		浸水被害を軽減するため、過去の浸水被害履歴を考慮した雨水管整備を実施します。			
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	雨水管の面積整備率 (雨水管整備済面積/ 市内全面積)	37.2%	38.2%	37.6%	○
取組内容 ・ 成果等	【指標1】 ・2017年度から2021年度にかけて17箇所、約17ヘクタールの雨水管整備を実施 ・整備に支障となる他企業の埋設管移設などに時間を要したが、概ね目標達成				
事業費 (計画見込額)		2,605百万円	決算見込額	2,470百万円	

◎ 基本政策4 安全に生活できるまちをつくる

○ 政策2 市民生活の安全を守る

Ⅱ-4-2-1	協働パトロール隊の推進	取組結果	未達成		
所管課	防災安全部市民生活安全課				
事業概要	体感治安※1 悪化の要因の1つである執拗な客引き※2 や女性に対するスカウトを一掃し、市民や来街者にとって安全・安心なまちにするため、町田駅周辺等での市、警察、商店会・自治会、企業、大学（専門学校を含む）との協働により維持継続してパトロール活動を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	協働パトロール隊のパトロール回数	48回/年	48回/年	30回/年	△
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2019年度にかけて、市、警察、商店会・自治会、企業、大学（専門学校を含む）との協働で、町田駅周辺等での協働パトロールを毎月定期的実施 ・2020年度から2021年度は、新型コロナウイルス感染症による、協働パトロールの一部中止などの影響もあり、年間のパトロール回数は、目標未達成 ・目標未達成であるものの、青色防犯パトロール車でパトロールや特殊詐欺被害防止のためのパトロールなど様々な工夫をし、切れ目なくパトロール活動を実施 				
事業費 (計画見込額)	255千円	決算見込額	239千円		

※1 体感治安

人々が感覚的、主観的に感じている治安の情勢をいいます。

※2 客引き

居酒屋、スナック、キャバクラなどの業者が、路上で客に声をかけて誘い入れることです。

Ⅱ-4-2-1	通学路の安全確保（再掲事業）	取組結果	達成		
所管課	学校教育部学務課				
事業概要	児童が安全・安心に通学できるよう、町田市立小学校の通学路に防犯カメラを整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	防犯カメラを設置	27校 (2016年度末)	全42校 (2017年度)	全42校 (2017年度)	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に小学校15校の通学路上に75台の防犯カメラを設置することで、小学校全42校で設置完了（通学路上に計210台の防犯カメラを設置） 				
事業費 (計画見込額)	55百万円	決算見込額	40百万円		

【まちづくり基本目標Ⅲ】

賑わいのあるまちをつくる

◎ 基本政策1 経済活動が盛んなまちをつくる

○ 政策1 活気ある商業空間をつくる

未来づくりプロジェクト

Ⅲ-1-1-1	中心市街地活性化の推進	取組結果	未達成		
所管課	経済観光部産業政策課、道路部道路維持課、地区街づくり課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づき、楽しく歩けるまちを目指すため、個性的な店舗及び魅力的な空間を増やす取り組みや、快適な歩行空間や散策できるスポットの増加を図ります。 ・まちの魅力やまちづくりの情報を市内外に発信する取り組みを進めます。 ・町田市の玄関口である町田駅周辺ペデストリアンデッキ下のイメージを向上させ、誰もが快適に歩くことができる環境を整備するため、ペデストリアンデッキ下の改良を行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	中心市街地歩行者通行量	60万人/日	60万人/日	調査未実施	-
2	町田駅周辺の中心市街地で滞在時間2時間超の人の割合	53.1%	60%	43.7%	△
3	ペデストリアンデッキ下環境改善整備実施地区数	—	3地区	3地区	○
取組内容・成果等	<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づき、個性的な店舗及び魅力的な空間を増やす取り組みや、快適な歩行空間や散策できるスポットの増加を図るため、2017年度から社会実験を実施 ・2021年1月に「町田駅周辺地区都市再生整備計画」を策定し、「賑わいや交流にあふれる街の実現」を目指し、原町田大通りにおける滞留空間の創出や、原町田中央通りの沿道空間活用に向けた社会実験などを実施 ・特設Webサイト「未来町田会議」や小田急町田駅西口に設置したポスターボードを活用し、中心市街地でのイベントやまちづくりの情報を、市内外に発信 <p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、調査未実施 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、現状値53.1%を下回る43.7%となり、目標未達成 <p>【指標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペデストリアンデッキ下の環境を改善するために照明のLED化、柱や周辺壁面の塗装替えを行ったほか、デッキ上に緑化コンテナを設置 ・計画通り、2020年度にデッキ下の環境改善を3地区完了し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	①228百万円 ③95百万円	決算見込額	①296百万円 ③24百万円		

未来づくりプロジェクト

Ⅲ-1-1-1	原町田一丁目地区のまちづくりの推進	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部地区街づくり課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地へより多くの来街者を迎え入れるため、町田市原町田一丁目自動車駐車場の機能更新を契機に、駅前としての交通空間や環境の機能向上を図り、町田駅南側の「玄関口」の整備を進めます。 ・ 高度利用を促進し、駅前に相応しい利便性の高い都市型住宅や生活利便機能などを導入することで、町田らしい生活拠点の整備を進めます。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	都市計画決定	—	都市計画決定	都市計画未決定	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年度に原町田一丁目地区のまちの将来像を示す「JR町田駅南地区まちづくり整備方針」を地域とともに策定 ・ 2017年度から2020年度にかけて、東京都・相模原市との協議、複合拠点整備に係る区域の権利者との意見交換、協議を実施 ・ 事業計画や都市計画等の検討を行ってきたが、2020年度には地権者全員の合意が得られず事業化を見送ることとなったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	84 百万円	決算見込額	22 百万円		

未来づくりプロジェクト

Ⅲ-1-1-1	小田急町田駅周辺地区のまちづくりの推進	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部都市政策課				
事業概要	中心市街地に新たな賑わいの創出、新たな集客機能の充実を目指すとともに、町田駅利用者の快適性、利便性をより一層高めるために、交通ターミナルの整備についての検討を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定	—	小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定	「町田市都市づくりのマスタープラン」において、町田駅周辺地区をリーディングプロジェクトとして位置づけ	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年度からモノレール延伸を見据えた町田駅の交通ターミナル機能の再編と周辺整備の方向性の検討を実施 ・ 小田急電鉄とまちづくりの検討に関する協定を結び、町田駅周辺まちづくりや交通利便性向上に関する検討を実施 ・ 「町田市都市づくりのマスタープラン」において、町田駅周辺地区をリーディングプロジェクトとして位置づけ 				
事業費 (計画見込額)	85 百万円	決算見込額	69 百万円		

Ⅲ-1-1-1	鶴川駅周辺のまちづくりの推進	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部地区街づくり課、道路部道路整備課				
事業概要	鶴川駅周辺の安全で便利な交通と快適で賑わいのある駅前空間を実現するため、北口交通広場※1の再編や南口の市街地整備、新たな商業施設の誘導を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	北口交通広場再編整備の着手	—	整備着手	整備着手	○
2	南口土地区画整理事業の認可	—	事業認可 (2018年度)	事業認可 (2019年度)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、北口交通広場再編整備、南北自由通路整備事業及び南口土地区画整理事業を推進 ・南北自由通路整備事業については、2020年度に予定した道路認定には至らぬものの実施設計を完了 <p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北口交通広場再編整備については、2021年度に当初目標の整備工事に着手し、目標達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南口土地区画整理事業については、2018年度に事業認可に至らず、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	3,314 百万円	決算見込額	3,489 百万円		

※1 北口交通広場
分かりやすくするために、「北口広場」を「北口交通広場」に変更しました。

Ⅲ-1-1-1	南町田駅周辺地区の拠点整備	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部都市政策課・公園緑地課、道路部道路政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・副次核※1として「新たな暮らしの拠点」の創出をめざし、官民共同で、都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備します。 ・土地区画整理事業、歩行者ネットワーク整備事業、鶴間公園・融合ゾーン魅力創出事業などを組み合わせて実施します。 ・歩行者ネットワーク整備事業の一環として、駅南北地域をつなぐ自由通路の整備を行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	事業完了	事業着手	事業完了 (2020年度)	複合利用ゾーンの都市計画変更 土地区画整理事業の事業計画変更 (2022年度事業完了予定)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民共同で、都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備し、2019年11月に「南町田グランベリーパーク」をまちびらき ・南町田グランベリーパーク駅南北自由通路整備工事、鶴間公園再整備工事、パークライフ・サイト外構工事、土地区画整理事業整備工事を実施 ・まちのデザインと空間づくりが評価され、2021年3月には「第1回グリーンインフラ大賞」において国土交通大臣賞を、2021年12月には「土木学会デザイン賞2021」において優秀賞を受賞 ・2020年度に事業完了予定であったが、コロナ禍における社会情勢の変化を鑑みて、複合利用ゾーンの土地利用について改めて検討を行う必要が生じ事業期間を延伸(2022年度完了予定)したため目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	7,380百万円	決算見込額	5,090百万円		

※1 副次核

「町田市都市計画マスタープラン」において、町田駅周辺に次ぐにぎわいの拠点として位置付けた、鶴川駅周辺、南町田駅周辺及び多摩境駅周辺の3つの拠点を指します。

Ⅲ-1-1-2	商業の活性化支援	取組結果	達成		
所管課	経済観光部産業政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の振興を図るため、市内の経済団体が連携し、各々の機能を十分に発揮できるよう、総合的な支援を行います。 ・市内産業の活性化を図るため、町田市ならではの店舗、事業所、商店会などの活動を積極的に支援します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	中小企業相談所相談・指導件数	2,900 件/年	3,000 件/年	3,518 件/年	◎
2	商店会などのイベント事業件数	45 件/年	45 件/年	18 件/年	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田商工会議所への支援を通じ、経営相談員による市内中小事業者に対する経営相談・指導を実施 ・2021 年度は、「デジタル初心者」の事業者を対象とした、町田商工会議所の「デジタルマンツーマン支援事業」について 25 社延べ 83 回の支援を実施（2022 年 3 月日本商工会議所事業者支援表彰を受賞） ・相談・支援の件数は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020 年度に 3,728 件、2021 年度には 3,518 件となり目標達成 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年度に 45 商店会の現状把握・課題抽出のための商店会基本情報調査、中小企業診断士による訪問ヒアリング調査を実施 ・2018 年度以降、希望した商店会に中小企業診断士等の専門家を派遣し課題解決に向けたアドバイスを、2021 年度までに延べ 49 商店会に対して実施 ・2020 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、商店会が実施する集客イベントが中止となったため、目標未達成 <p>*参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内経済の活性化、キャッシュレス決済促進のため、スマートフォンによるキャッシュレス決済サービス「PayPay」を活用したプレミアムポイント事業を実施 ・第 1 弾：2020 年度（12 月から 1 月まで）約 28.4 万人が利用、決済総額約 92.1 億円 ・第 2 弾：2021 年度（6 月）約 30.4 万人が利用、決済総額約 38 億円 				
事業費 (計画見込額)	452 百万円	決算見込額	291 百万円		

◎ 基本政策1 経済活動が盛んなまちをつくる

○ 政策2 ものづくり産業を活性化する

Ⅲ-1-2-1	ものづくり事業者への支援の充実	取組結果		達成	
所管課	経済観光部産業政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市のものづくり産業の持続的な発展のため、ものづくりに携わる事業者の経営支援や、独自性のある技術・製品の研究・開発に伴う販路拡大などの支援に取り組みます。 ・ハイレベルな技術者が集まり、独自性のある製品が市内で開発され、町田市のものづくり産業が人々に注目される環境を目指します。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	産業見本市出展支援件数	12 件/年	15 件/年	18 件/年	◎
2	町田市トライアル発注認定商品※1 数	16 商品	45 商品	44 商品	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大に向けて国内外の産業見本市・展示会等へ出展した市内事業者に対し、出展料等を一部補助 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020 年度以降「対面方式」による産業見本市の開催中止が相次いだ。その一方で「オンライン見本市」開催に伴う出展者の補助金需要が増加したことから、2020 年 9 月にオンライン方式を補助対象に追加 ・2021 年度には年間 18 件（国内：15 件、オンライン：3 件）の補助を実施し、目標達成 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2021 年度にかけて、28 商品を「町田市トライアル発注認定商品」として認定 ・「町田市トライアル発注認定商品」の認定は、累計で 33 事業者・44 商品となり、概ね目標達成 ・2019 年度から 2021 年度にトライアル発注認定を受けた事業者に対し、「町田市トライアル発注認定制度」アンケートを実施したところ、「認定を受けて良かった」という割合が 90%（認定事業者の声：「問い合わせ件数が、以前より増えた」、「周知・カタログ掲載で広報活動に役立った」、「町田市の認定商品という事で信用力が高まった」等） 				
事業費 (計画見込額)	22 百万円	決算見込額		42 百万円	

※1 町田市トライアル発注認定商品

新規性が高く、優れた使用価値を有する商品を生産する市内ものづくり事業者及びその商品を認定することにより、商品の信用力を高め、販路拡大を支援する制度（「町田市トライアル発注認定制度」）により認定された商品をいいます。

◎ 基本政策1 経済活動が盛んなまちをつくる

○ 政策3 農を支える環境をつくる

未来づくりプロジェクト

Ⅲ-1-3-1	農業の生産性の向上	取組結果		未達成	
所管課	経済観光部農業振興課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の担い手不足解消や農地の保全のため、農業研修の充実や新規就農者をはじめ、意欲ある農業者へ遊休農地のあっせんを推進します。 ・町田産農産物の生産供給力を高めるため、ビニールハウスなどの農業用施設の整備を支援します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	農業研修修了者数	67人 (2016年度末)	117人	112人	○
2	農地あっせん面積	15.3ヘクタール	20ヘクタール	16.8ヘクタール	△
3	都市農業活性化支援事業※1 実施件数	—	1件/年	1件/年	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業研修事業を通じて新規就農者や援農ボランティアを育成し、高齢化や後継者不足等による農業者の減少を抑制 ・農業の新たな担い手の育成を目的とした農業研修事業の終了者数は、2017年度から2021年度で45名増加の112名となり、概ね目標を達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の遊休農地について、農地あっせん事業や農地利用意向調査を実施し、農地利用を促進 ・農地あっせん面積は1.5ヘクタール増加したが、耕作適地が少なく農地の貸借が進まなかったことから、目標未達成 <p>【指標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の整備により町田産農産物の生産供給力が向上 ・2017年度から2021年度の5年間で、町田の農業の基幹である育苗センター、農業者のビニールハウスなどの5件の農業用施設整備を支援し、目標値を達成 				
事業費 (計画見込額)	255百万円		決算見込額	276百万円	

※1 都市農業活性化支援事業

認定農業者が収益性の高い農業を展開するために、必要な施設を整備して経営力を強化する3戸以上の営農集団などが行う取り組みや、農業協同組合による地域農業振興のために行う施設整備などを支援する事業を行います。

Ⅲ-1-3-2	農とのふれあいの推進	取組結果	達成		
所管課	経済観光部農業振興課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町田の農業の魅力を広く伝えるために、わかりやすい情報発信を行い、農にふれあう機会を増やします。 ・市民が農にふれあう場や機会を提供するために、町田薬師池公園四季彩の杜に農業体験エリアを開設します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	インターネットを利用した農業情報発信	—	ツールの整備 (2018年度)	ツールの整備 (2018年度)	○
2	町田薬師池公園四季彩の杜農業体験利用者数	—	41,600人/年	40,000人/年	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に地域情報メディアサイト「まちだけ」やSNSによる農業情報発信ツールを整備し、目標を達成 ・直売所やまち☆ベジグルメ店、農業イベント情報、まち☆ベジグルメ店等の情報を多様な媒体で発信し、町田市の農業を広くPR <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季彩の杜に農業体験エリアを整備し、農とふれあう機会を創出したことで、農の魅力を広くPR ・四季彩の杜において野菜の収穫や販売、景観作物等のイベントを開催し、概ね目標達成 				
事業費 (計画見込額)	14百万円	決算見込額	10百万円		

◎ 基本政策1 経済活動が盛んなまちをつくる

○ 政策4 事業者が活発に活動できる環境をつくる

未来づくりプロジェクト

Ⅲ-1-4-1	起業の支援	取組結果		未達成	
所管課	経済観光部産業政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の雇用拡大及び税収増加のために、町田新産業創造センター※1の運営や事業者への販路拡大支援などによる創業支援を促進し、市内で開業する事業所を増加させます。 ・市内産業の活性化のために、創業者の優れた発想や独創性を成長させ、日本や世界で通用する企業に育て、既存企業とのマッチングを促進します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	市内で開業した事業所の数	396件	450件	402件	△
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町田創業プロジェクト※2」において、創業を目指す方に町田商工会議所・町田新産業創造センター・BUSO AGORA（2021年度から支援機関に登録）が創業知識習得の支援を行い、知識習得した方に市が創業に関する各種特典を得るための証明書を5年間で606名に発行 ・「町田創業プロジェクト」による支援件数増加に伴い、「創業資金※3」の融資実行件数も年々増加し、5年間で305件の支援を実施（2017：23件、2018：45件、2019：78件、2020：79件、2021：80件） ・「町田創業プロジェクト」のメニューのひとつである、ファーストステップセミナー（〔株〕町田新産業創造センター主催）は、2020年6月からオンライン化をスタートし、2021年10月から24時間365日支援ができる体制を構築 ・証明書発行数や融資実行件数は年々増加しコロナ禍にあっても起業・創業の機運が継続しているが、市内で開業した事業所の数は、2018年度を除いた各年度で目標を下回り、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	183百万円	決算見込額		119百万円	

※1 町田新産業創造センター

2013年4月にオープンした創業支援施設で、インキュベーションマネージャー（相談員）が常駐し、創業にあたっての各種経営相談などを行っています。また、創業を目指す方や創業間もない方を対象に、個室やブースの貸し出しも行っていきます。

※2 町田創業プロジェクト

地域の支援機関（町田商工会議所・町田新産業創造センター・金融機関・町田市・BUSO AGORA）が連携して創業者支援を行う公的なネットワークです。事業計画の立案・資金調達・販路開拓・人材育成などの相談対応から、セミナーの開催など、創業者のステージに合わせた総合的な支援を行います。

Ⅲ-1-4-2	企業誘致の推進	取組結果	未達成		
所管課	経済観光部産業政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市の企業誘致制度※1 を積極的にPRすることにより、市内への企業立地及び設備投資を促進し、市民雇用の拡大及び税収の増加を目指します。 ・新たに立地した企業と市内の既存企業とのマッチングや交流を進め、市内産業をさらに活性化させていきます。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	1年間に誘致した企業数	—	1件/年	0件/年	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で事業所を増設し、2016年度及び2017年度に企業等立地奨励金対象企業として指定した2事業者に対して企業等立地奨励金Ⅰ型を交付 ・企業誘致制度を広くPRする際に使用するパンフレットを作成 ・2018年1月に開設された「東京都企業立地相談センター」等と連携しながらPRを実施 ・不動産所有者、不動産事業者、金融機関等との情報交換を通じ、誘致用の物件や企業の進出ニーズに関する情報を収集 ・町田新産業創造センター入居事業者に対し、センターでの入居契約が満了した後に、市内で事業を継続する際に対象となる奨励制度を説明 ・2019年度には、中心市街地において映画館やホテル等、新たな賑わいと交流を創出する施設を整備する事業者に対して、奨励金の交付等を行う「中心市街地活性化奨励制度」を開始 ・企業立地に関する問合せが5年間で延べ21件あったものの、誘致は1件（2017年度）にとどまったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	70百万円	決算見込額	15百万円		

※1 企業誘致制度

市内での工場・事務所などの新設・増設に対し、一定の要件を満たした企業に対して奨励金を交付する制度をいいます。

◎ 基本政策2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる

○ 政策1 誰もが文化芸術に親しめる環境をつくる

Ⅲ-2-1-1	オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進	取組結果	達成		
所管課	文化スポーツ振興部文化振興課				
事業概要	東京 2020 オリンピック・パラリンピックの気運を高めるために、文化芸術活動の発表や鑑賞の機会をつくり、町田市発の文化芸術を創造することで、文化芸術を活かしたまちづくりを推進します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	文化プログラム※1 実施回数	—	150 回	185 回	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が身近な場所で文化に触れることができる機会を提供し、市内アーティストや団体等との新たなつながりを構築することで、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの気運を醸成 ・2018 年から 2021 年度にかけて、まちだの魅力を文化芸術のチカラで発信する事業や活動を「町田市文化プログラム」として累計 200 件認証・185 回実施し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	45 百万円	決算見込額	7 百万円		

※1 文化プログラム

オリンピック・パラリンピックの気運を盛り上げるため、美術館・博物館、劇場をはじめ、都市のあらゆる空間を活用して実施される文化関連事業をいいます。

Ⅲ-2-1-2	文化芸術の拠点施設の整備	取組結果	未達成		
所管課	文化スポーツ振興部文化振興課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の文化芸術環境の向上のため、音楽や演劇など多様な用途に対応できる新たな文化芸術ホール整備についての検討を進めます。 ・国際版画美術館とともに「芹ヶ谷公園芸術の杜」の核である美術ゾーンを形成し、まちの魅力とブランドを高める「（仮称）町田市立国際工芸美術館」を整備します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	文化芸術ホール 基本構想策定着手	—	基本構想策定着手	基本構想策定未着手	△
2	（仮称）国際工芸 美術館工事着手	基本設計完了	工事着手 （2020年度）	実施設計作業中	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2019年度にかけて、他自治体の先進事例として8施設を視察し報告書を作成 ・多摩26市を対象に、文化芸術関連基本計画の策定状況等に関するアンケート調査等を実施 ・2019年度に、文化芸術ホールの整備については単独で基本構想を策定するのではなく、2024年度に策定する「（仮称）町田市文化芸術のまちづくり基本計画」の中であわせて検討することとなったため、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に、公園と美術館をそれぞれ単体として捉えるのではなく、「芸術の杜」という大きなテーマの中で公園と（仮称）町田市立国際工芸美術館を一体的に整備するために、基本設計から事業を見直し ・2020年度から実施設計を行ったが、地域と対話を重ねる中で、いただいた意見をより反映させるために実施設計を一時中断したため、目標未達成（2022年度実施設計完了に向け作業中） 				
事業費 (計画見込額)	①11 百万円 ②1,758 百万円	決算見込額	①15 千万円 ②74 百万円		

Ⅲ-2-1-2	文化芸術作品の鑑賞機会の充実	取組結果	未達成		
所管課	文化スポーツ振興部国際版画美術館				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けた3カ年のイベントイヤーにおいて、版画芸術を通じた「日本の伝統文化」と「現代日本の芸術」を紹介する展覧会を毎年度開催します。 ・文化プログラムの一環として開催する国際版画美術館の展覧会の広報及びプロモーションなどを、多言語対応で実施します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	国際版画美術館展覧会観覧者数	97,000 人/年	150,000 人/年	93,170 人/年	△
2	国際版画美術館来館者数	150,000/年	200,000 人/年	125,988 人/年	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、国際的に人気があり、かつ日本の伝統文化紹介に適した浮世絵の大型企画展と、町田のスポーツ、歴史、自然、都市文化をテーマに制作した現代アートを紹介する「インプリントまちだ展」を2017年度から毎年開催。浮世絵の国際版画美術館というイメージの浸透や現代アートによる町田のイメージを伝えることに貢献 ・2017年度から2021年度にかけて、毎年10～13回の企画展・ミニ企画展、参加型イベント等を実施 ・展覧会観覧者数・来館者数ともに、2019年度までは現状値を大きく上回ったが、2020年度以降は新型コロナウイルスの感染拡大の大きな影響を受け、観覧者数、来館者数ともに減少、2021年度は回復傾向にあるものの、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	201 百万円	決算見込額	144 百万円		

Ⅲ-2-1-2	芹ヶ谷公園芸術の杜の整備	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課				
事業概要	芸術の杜にふさわしい空間を演出し、中心市街地との回遊性も高め、新たな賑わいを創出する公園として再整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	第一期整備完了 (都営住宅跡地など)	—	整備完了 (2019年度)	整備完了 (2019年度)	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度に当初目標の第一期整備区域「さわやかみどりゾーン」の整備工事が完了し、目標達成 ・2019年11月に芹ヶ谷公園グラウンド、トイレ棟を、2020年3月に大型滑り台、デッキスロープ、芝生広場を供用開始 ・2020年度に第二期公園整備の基本設計が完了し、2022年度以降に実施設計、整備工事を実施予定 				
事業費 (計画見込額)	633百万円	決算見込額	776百万円		

Ⅲ-2-1-3	市内文化財の保存と活用の推進	取組結果	達成		
所管課	生涯学習部生涯学習総務課				
事業概要	市内の文化財について、発掘調査や環境整備によって維持保存・魅力の向上を図るとともに、市民に文化財の情報や魅力を伝えるため、積極的な公開活用を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	高ヶ坂遺跡公園整備	整備着手 (2017年2月)	整備完了	整備完了	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、牢場遺跡(2018年度に取得した土地部分除く)や稲荷山遺跡の整備のほか、八幡平遺跡(植栽等一部を除く)を整備し、高ヶ坂遺跡公園の整備を完了 				
事業費 (計画見込額)	121百万円	決算見込額	176百万円		

◎ 基本政策2 文化芸術活動やスポーツが盛んなまちをつくる

○ 政策2 誰もがスポーツに親しめる環境をつくる

Ⅲ-2-2-1	地域のスポーツ環境の整備	取組結果	達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツの環境づくりを推進するため、学校開放利用者の利便性の向上を図り、地域スポーツクラブ※1の活動を活発化させます。 ・学校施設やクラブハウス※2を地域住民及び地域スポーツクラブのスポーツ活動の拠点として位置づけ、活用を図ります。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	地域スポーツクラブの会員数※3	1,813人	3,000人	2,861人	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて地域スポーツクラブの設立支援を行い、市内に11団体のクラブを設立 ・会員数増に向けた運営支援により2019年度までは会員数が大幅に増加、2020年度以降に新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブの活動が制限され会員数が減少したが、概ね目標達成 ・引き続き、地域スポーツクラブが主体となり、各種スポーツ教室を実施するほか、「まちとも」等と連携し、スポーツプログラムを提供 				
事業費(計画見込額)	167百万円		決算見込額	1百万円	

※1 地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで(多世代)、さまざまなスポーツを愛好する人々が(多種目)、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

※2 クラブハウス

地域スポーツクラブの運営拠点となる施設をいいます。

※3 地域スポーツクラブの会員

個人会員・団体会員・クラブが主催する教室・イベントに定期的に参加している方を指します。

Ⅲ-2-2-1	スポーツをする場の環境整備	取組結果	未達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、雨水調整池※1などを、スポーツ施設を併設した公園として整備し、効率的・効果的な施設管理及び運用を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	スポーツ施設整備数	—	4施設	3施設	△
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に緑ヶ丘グラウンドの供用を開始 ・2019年度に沼中央広場スポーツ施設の供用を開始 ・2021年度に成瀬鞍掛スポーツ施設の整備工事を実施 ・小山上沼調整池スポーツ施設の整備内容を再検討する必要が生じたため、目標未達成 				
事業費(計画見込額)	572百万円		決算見込額	673百万円	

※1 調整池

大雨が降った際に雨水を一時的に貯めて、河川へ流れ込むスピードと量を調整する施設をいいます。

Ⅲ-2-2-1	東京 2020 オリンピック・パラリンピック等 国際大会の推進	取組結果	達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会開催やキャンプ地招致などを契機に、子どもたちに夢を与え、文化、スポーツ、経済、観光などの多分野の振興と町田市全体の魅力向上を図るため、市民・産・学・官が一体となったオール町田での気運醸成に取り組みます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	キャンプ地招致※1 競技	—	3 競技	2 競技	△
2	オリンピック・パラリンピック気運醸成イベント数	—	20 イベント	71 イベント	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019 年 9 月から 10 月にかけて、ラグビーワールドカップの公認チームキャンプ地としてナミビア代表を受け入れ、大会公式の地域交流イベントとして、公開練習見学、ラグビー体験、日本文化体験等の交流イベントを実施 ・2021 年 8 月に、東京 2020 パラリンピックの事前キャンプ地としてインドネシアパラバドミントン代表を受け入れ、市民交流イベントとして公開練習見学、オンライン交流を実施 ・2017 年度から、ラグビーワールドカップキャンプ、オリンピック・パラリンピックについて、キャンプ地招致に向けた視察・合宿受け入れ等を実施したが、事前キャンプを予定していた 6 競技のうち 4 競技（インドネシアバドミントン・空手、南アフリカ陸上競技、中国バドミントン）については、練習スケジュール等の調整の結果、実施できず目標未達成 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2021 年度にかけて、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックに関連したパブリックビューイングや、各種イベントへのブース出展、町田市ゆかりのアスリートを招いた講演会の実施などの気運醸成イベントを実施。目標を大きく上回る 71 イベントを実施し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	145 百万円	決算見込額	112 百万円		

※1 キャンプ地招致

大会に出場するアスリートが事前調整を行うためのトレーニング施設や宿泊施設を用意し、各国の選手団や競技チームを招くことをいいます。

Ⅲ-2-2-1	子どもと高齢者の体力向上推進（再掲事業）	取組結果	未達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	子どもの体力低下対策や、高齢化社会における健康寿命延伸のため、多世代に対してアプローチできる地域スポーツクラブ※1などが主体となって各種スポーツ教室を実施します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	教室事業の参加者数 （子ども対象）	34,282 人	40,000 人	25,000 人	△
2	教室事業の参加者数 （高齢者対象）	27,450 人	30,000 人	18,000 人	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブによる新しい「まちとも」との連携による運動遊びプログラムを提供 指定管理者、スポーツ推進委員等による子ども向け教室事業を実施 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツクラブによる高齢者対象の出張教室を開催 スポーツ推進委員との連携による高齢者向け教室事業を実施 総合体育館、室内プール指定管理者による高齢者向け教室事業を実施 <p>【指標 1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年度から2020年度にかけて、新型コロナウイルス感染症等の影響で教室事業を実施することが困難な期間があり、子ども、高齢者ともに参加者数が大幅に減少 2021年は教室を順次再開し、子どもは25,000人、高齢者は18,000人まで持ち直したが、目標未達成 新しい生活様式に対応した「自宅でできる運動動画」等を作成し、市ホームページで公開 				
事業費 (計画見込額)	8 百万円	決算見込額	5 百万円		

※1 地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで（多世代）、さまざまなスポーツを愛好する人々が（多種目）、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブをいいます。

Ⅲ-2-2-2	野津田公園スポーツの森の整備	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指し、多目的グラウンドやテニスコートを拡張区域に新たに設けるとともに、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように公園全体を再整備します。 ・プロスポーツなどの大きなスポーツ大会に対応する競技環境と観戦設備を整備します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	拡張区域整備	—	用地取得完了 (2020年度)	用地取得未完了	△
2	大型映像装置整備	—	整備完了 (2017年度)	整備完了 (2017年度)	○
3	観客席増設	—	整備完了 (2020年度)	整備完了 (2021年度)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丘の上グラウンド、クラブハウスなどの拡張区域工事の一部の整備工事完了 ・計画時に予定していた拡張区域の一部の用地について、地権者との調整に時間を要し、取得が未完了のため、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に大型映像装置の整備が完了し、目標達成 <p>【指標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度には整備が完了せず、目標未達成 ・2021年5月に観客席5,000席増設整備完了・供用開始（増設後15,000席） 				
事業費 (計画見込額)	7,536百万円	決算見込額	6,524百万円		

Ⅲ-2-2-3	アスリートやホームタウンチームとの連携の推進	取組結果	未達成		
所管課	文化スポーツ振興部スポーツ振興課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がスポーツに親しみ、世代を超えた交流を広げ、豊かな人生を過ごせるようにするため、ホームタウンチーム※1の施設利用や広報活動の支援を行います。 ・ホームタウンチームと連携したシティセールスの推進やプロモーション活動の充実を図ることで、スポーツによるまちづくりを行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	年間観戦者数	100,000人	170,000人	64,326人	△
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチームや民間事業者と協力し、市内小中学校や公共施設などへ横断幕やポスター等を設置し、試合日程やチームの活動を広く市民にPR ・各子どもセンターの職員がFC町田ゼルビア応援Tシャツをイベント等で着用し、センター利用者にPR ・シーズン開幕前に機運醸成とPRのために、市庁舎および出先機関の一部で職員が応援Tシャツを着用し、来庁者にPR ・市民との距離を縮めるため、ホームタウンチームによるスポーツクリニックや体験事業を実施 ・ホームタウンチームと協力して、懸垂幕やタペストリー等を設置 ・ホームゲーム開催時にまちだサポーターズを登用するなど、スポーツボランティア活動を支援 ・町田GIONスタジアムのバックスタンド落成式典をFC町田ゼルビアのホームゲームに合わせて開催し、シティプロモーションを実施 ・上記の取り組みを推進したが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症による入場制限等の影響もあり観戦者数が伸び悩み、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	31百万円	決算見込額	38百万円		

※1 ホームタウンチーム

町田市を拠点として活躍しているスポーツチームをいいます。2020年3月現在、ASVペスカドーラ町田、FC町田ゼルビア、キャノンイーグルスの3チームがあります。

◎ 基本政策3 魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる

○ 政策1 まちの魅力を高める

Ⅲ-3-1-1	オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進（再掲事業）	取組結果	達成		
所管課	文化スポーツ振興部文化振興課				
事業概要	東京 2020 オリンピック・パラリンピックの気運を高めるために、文化芸術活動の発表や鑑賞の機会をつくり、町田市発の文化芸術を創造することで、文化芸術を活かしたまちづくりを推進します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	文化プログラム※ 1 実施回数	—	150 回	185 回	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が身近な場所で文化に触れることができる機会を提供し、市内アーティストや団体等との新たなつながりを構築することで、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの気運を醸成 ・2018 年から 2021 年度にかけて、まちだの魅力を文化芸術のチカラで発信する事業や活動を「町田市文化プログラム」として累計 200 件認証・185 回実施し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	45 百万円	決算見込額	7 百万円		

※1 文化プログラム

オリンピック・パラリンピックの気運を盛り上げるため、美術館・博物館、劇場をはじめ、都市のあらゆる空間を活用して実施される文化関連事業をいいます。

Ⅲ-3-1-1	(仮称)まちだシティプロモーション 18-20 ※1 の推進	取組結果	達成		
所管課	政策経営部広報課				
事業概要	市民が町田市に愛着や誇りを感じ、市外の人に関心を持ち憧れるまちを目指し、市民が参画・参加する取組を市制 60 周年となる 2018 年からの 3 ヶ年で実施し、地域の魅力を高め、その取組や魅力を市内外へ発信します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	取組参画・参加人数	—	100 万人 (2020 年度)	259 万人	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年度から 2021 年度にかけて、543 件の相談、316 件のエントリーがあり、272 件の取り組みを実現 ・市内全 10 地区において、新しい人・団体のつながりから生まれた大作戦チャレンジ事業が実施され、「市制施行 60 周年は、町田市全体で祝う雰囲気になりたい」という発想が実現 ・上記の取り組みにより、取組参画・参加人数は、目標値 100 万人を大きく上回る 259 万人となり、目標達成 <p>*参考 <大作戦チャレンジ事業として決定された作戦への支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信（町田記者會、各メディア関係者向けにプレスリリース、ホームページや SNS の活用） ・行政機関との調整をサポート（お座敷会議など） ・場の支援（施設の予約、施設・空間利用の規制緩和等） ・資金の支援（クラウドファンディングの活用） <p><PR・周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちだ〇ごと大作戦実行委員会及び取り組み実施者によるホームページや SNS のほか、タブロイド版広報紙「まちだ〇ごと大作戦レポート」の発行、プレスリリース、動画配信等、積極的な情報発信を実施し、新聞やテレビ、WEBなどで複数のメディアで取り組みが記事となり掲載 ・まちだ〇ごと大作戦レポート vol.13（11 月 1 日発行）の企画として、まちだ〇ごと大作戦実行委員会の深澤 勝 委員長（町田商工会議所会頭）、安達 廣美 副委員長（町田市町内会・自治会連合会会長）、石阪 丈一 町田市市長が〇ごと大作戦の発足当時の様子や数々の作戦を振り返り、町田の未来について語る座談会を実施 ・まちだ〇ごと大作戦のコンセプトや成果、参加・参画者からのメッセージを掲載した他、様々な作戦が市内全域で実施された様子を市内在住のイラストレーター中垣ゆたか氏と本田亮氏によるイラストで表現した報告書を作成し、作戦実施者や市内各施設で市民に配布 				
事業費 (計画見込額)	64 百万円	決算見込額	231 百万円		

※1 まちだ〇ごと大作戦 18-20

計画策定時には事業名を「(仮称)まちだシティプロモーション 18-20」としていましたが、2018 年 1 月から「まちだ〇ごと大作戦 18-20」として事業を開始しました。

※2 まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「まちだ〇ごと大作戦 18-20」の実施期間を 1 年延長し、「まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺」として 2021 年 12 月末まで実施します。

Ⅲ-3-1-2	地域の特性を活かした観光まちづくりの推進	2020年度 取組結果	未達成		
所管課	経済観光部観光まちづくり課				
事業概要	地域の歴史、自然、文化などの魅力を伝えるため、町田市観光コンベンション協会のホームページで情報発信を行うとともに、来訪者を案内する人材を育成します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	町田市観光コンベンション協会のホームページ訪問者数	264,000人	317,000人	174,429人	△
2	観光案内ボランティアの人数	36人	100人	17人	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に「観光」を軸に、市民と行政が協働でまちの活力を維持・向上させるための指針として「町田市観光まちづくり基本方針」と、2021年度までに進める先導的な取り組みをまとめた「町田市観光まちづくりリーディングプロジェクト」を策定 <p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年12月に多言語化やマルチデバイス化などの機能追加を含めたホームページの更改を実施 ・観光コンベンション協会のSNS、繁体字圏、英語圏（増設）向けのFacebook、外国人向け英字情報誌「メトロポリス」web版や多言語観光情報サイト「Guidoor」を新設するなど、様々な媒体を活用し情報を発信 ・2020年度に、観光コンベンション協会ホームページへ誘導する広告をWebやSNSに掲載 ・2012年度以降、ホームページ訪問者数は徐々に増加してきたが、2017年12月のホームページの更改時にホームページ訪問者数のカウント方法を延べ人数から実数に変更したため、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内ボランティア（観光案内人）との意見交換、観光案内に関する先進事例の研究を実施 ・2018年度に、観光人材育成の一環として京都の住民自らがガイドする人気ツアー「まいまい京都」の主宰者を講師に招き、町田市で街歩きを実施 ・2019年度に、観光コンベンション協会とともに町田の観光資源を生かした「町田ゆかりの作家の目線で巡るアートレッスン体験ツアー」（まちだふらっと）を実施 ・2019年度に、町田時代祭りで市内の外国人おもてなしボランティアと協働で外国人向けの観光案内を実施 ・2019年度に、日本フットパス協会10周年記念式典を開催 ・既存の観光案内人が高齢や家族の介護などの理由により引退、また新たな観光案内ボランティアの人材確保には至らなかったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	258百万円	決算見込額	35百万円		

Ⅲ-3-1-2	外国人観光客等の受入環境の整備	取組結果	未達成		
所管課	経済観光部観光まちづくり課				
事業概要	東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客の町田市への誘客を促進するため、ハード、ソフト両面での受入環境を整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	多言語版の観光マップ類の作成数	—	5 種類	5 種類 (2019 年度)	○
2	無料公衆無線 LAN((仮称)Machida Free Wi-Fi)のアクセスポイント数	—	160 箇所	16 箇所	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2019 年度の 3 年間で、多言語に対応した観光マップを 5 種類作成し、目標達成 ・町田市観光コンベンション協会のホームページを多言語化 ・観光コンベンション協会の職員を対象に、外国人観光客対応研修を実施 ・繁体字圏、英語圏（増設）向けの Facebook、外国人向け英字情報誌「メトロポリス」web 版や多言語観光情報サイト「Guidoor」による情報発信を展開 ・町田ツーリストギャラリーが JNTO（日本政府観光局）による外国人観光案内所に認定 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度から 2021 年度にかけて、16 箇所設置したものの、目標未達成 ・導入当初に想定していた民間施設への Wi-Fi 設置の希望がなかったことや、国際ローミングサービスの普及により外国人旅行客へのフリー Wi-Fi の必要性が無くなった等、今後は観光目的以外でも Wi-Fi 利用のあり方の検討が必要 				
事業費 (計画見込額)	42 百万円	決算見込額	15 百万円		

Ⅲ-3-1-2	町田薬師池公園四季彩の杜の整備	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課、地域福祉部障がい福祉課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 町田市の観光拠点とするため、町田薬師池公園四季彩の杜の公園、その他の各施設について、四季折々の花や庭園、風景などを楽しめるように整備します。 老朽化が進んでいるリス園・ダリア園を改修します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	西園及びウェルカムゲート※1の整備	—	整備完了 (2019年度)	整備完了 (2019年度)	○
2	リス園・ダリア園の改修	—	改修完了	改修完了	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年度に、西園及びウェルカムゲートの整備が完了し、目標達成 西園の来園者数は、2020年度、2021年度のそれぞれで50万人を超えた <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> リス園、ダリア園ともに、老朽化の進んでいる施設や設備に対し広範囲において予定していた改修工事を完了し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	2,543 百万円	決算見込額	1,991 百万円		

※1 ウェルカムゲート

2018年3月に策定した『町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針』に基づき、「ゲートハウス」を「ウェルカムゲート」に改めました。

Ⅲ-3-1-2	香山緑地の整備	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課				
事業概要	香山緑地を町田市の観光拠点の一つとするため、美しい庭園と存在感のある書院造の建物を活かした緑地として整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	香山緑地の整備	—	工事着手 (2020年度)	工事着手 (2020年度)	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年度に用地取得、2020年度から基盤整備工事に着手し、目標達成。2021年度には基盤整備工事が完了 2022年度以降、耐震改修工事、庭園工事を進める 				
事業費 (計画見込額)	351 百万円	決算見込額	650 百万円		

◎ 基本政策3 魅力にあふれ、何度でも訪れたいまちをつくる

○ 政策2 まちの魅力を発信する

Ⅲ-3-2-1	シティプロモーションの推進	取組結果	達成		
所管課	政策経営部広報課				
事業概要	市民が自分の住むまちに愛着を持ち、市外からの来訪促進や定住促進を図るために、「まちだシティプロモーション基本方針」※1に基づき町田市の魅力を、継続的・戦略的に市内外に情報発信します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	広告換算費※2	250 百万円/年	300 百万円/年	5,413 百万円/年	◎
2	町田市に魅力を感じる市民の割合	64.7%	71.3%	68.7%	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスメディアを中心に露出を獲得するためのメディアプロモート活動を実施し、テレビ番組、新聞・雑誌などのプリント媒体、WEB サイトで露出を獲得 ・ 2020 年 7 月から WEB プレスリリース配信を開始 ・ 上記の取り組みなどにより、2021 年度の広告換算費は目標値 300 百万円を大きく上回る 5,413 百万円を達成 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代や 20～30 代の女性をメインターゲットとした PR 冊子「まちだ子育てブランドブック」、「MACHIDA CITY BOOK 2020」、「まちだで好きを続ける」を作成し、市内及び近隣市で配布 ・ 町田での暮らしや町田の魅力を伝える動画「まちだで育む」、「まちだで好きを続けるメイキング動画」、アニメーション「START」を制作・公開したほか、トークイベント「よいまち ていねいなくらし」、「KEN THE 390 × キン・シオタニ トークイベント」や、「ポケふた」を活用した町田の魅力を紹介するオンライン番組「“ポケふた”のあるまち。まちだってどんなまちだ？」を実施 ・ 2020 年 8 月にまちだシティプロモーション（町田市公式）の Twitter 及び Instagram を開設（2022 年 3 月現在、Twitter フォロワー数 790、Instagram フォロワー数 1,305） 				

<ul style="list-style-type: none"> ・上記の取り組みなどにより、2016年度から2020年度で町田市に魅力を感じる市民の割合は64.7%から68.7%となり、目標達成 ・2021年度にこれまでの取り組みや成果を踏まえ、「まちだシティプロモーション基本計画22-26」を策定。この基本計画に基づき、来訪促進、定住促進を進め、「市内外から選ばれ続けるまち」の実現を目指す 			
事業費 (計画見込額)	150百万円	決算見込額	139百万円

※1 まちだシティプロモーション基本方針

市民意識調査の結果や有識者の意見を参考に、市民の愛着や市外の方の関心・憧れを醸成するための基本的な考え方や大きな方向性を明らかにしたものです。

※2 広告換算費

シティプロモーションの活動により、新聞や雑誌、テレビニュースや番組、ニュースサイトなどに掲載又は掲出された記事の大きさ、掲載面などによって、その記事と同等の大きさの広告を掲出した場合の料金を算出したものをいいます。

Ⅲ-3-2-1	(仮称)まちだシティプロモーション 18-20 ※1 の推進 (再掲事業)	取組結果	達成		
所管課	政策経営部広報課				
事業概要	市民が町田市に愛着や誇りを感じ、市外の人に関心を持ち憧れるまちを目指し、市民が参画・参加する取組を市制 60 周年となる 2018 年からの 3 ヶ年で実施し、地域の魅力を高め、その取組や魅力を市内外へ発信します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	取組参画・参加人数	—	100 万人 (2020 年度)	259 万人	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年度から 2021 年度にかけて、543 件の相談、316 件のエントリーがあり、272 件の取り組みを実現 ・市内全 10 地区において、新しい人・団体のつながりから生まれた大作戦チャレンジ事業が実施され、「市制施行 60 周年は、町田市全体で祝う雰囲気になりたい」という発想が実現 ・上記の取り組みにより、取組参画・参加人数は、目標値 100 万人を大きく上回る 259 万人となり、目標達成 <p>*参考 <大作戦チャレンジ事業として決定された作戦への支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 (町田記者会、各メディア関係者向けにプレスリリース、ホームページや SNS の活用) ・行政機関との調整をサポート (お座敷会議など) ・場の支援 (施設の予約、施設・空間利用の規制緩和等) ・資金の支援 (クラウドファンディングの活用) <p><PR・周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちだ〇ごと大作戦実行委員会及び取り組み実施者によるホームページや SNS のほか、タブロイド版広報紙「まちだ〇ごと大作戦レポート」の発行、プレスリリース、動画配信等、積極的な情報発信を実施し、新聞やテレビ、WEB などで複数のメディアで取り組みが記事となり掲載 ・まちだ〇ごと大作戦レポート vol.13 (11 月 1 日発行) の企画として、まちだ〇ごと大作戦実行委員会の深澤 勝 委員長 (町田商工会議所会頭)、安達 廣美 副委員長 (町田市町内会・自治会連合会会長)、石坂 丈一 町田市市長が〇ごと大作戦の発足当時の様子や数々の作戦を振り返り、町田の未来について語る座談会を実施 ・まちだ〇ごと大作戦のコンセプトや成果、参加・参画者からのメッセージを掲載した他、様々な作戦が市内全域で実施された様子を市内在住のイラストレーター中垣ゆたか氏と本田亮氏によるイラストで表現した報告書を作成し、作戦実施者や市内各施設で市民に配布 				
事業費 (計画見込額)	212 百万円	212 百万円	231 百万円		

※1 まちだ〇ごと大作戦 18-20

計画策定時には事業名を「(仮称)まちだシティプロモーション 18-20」としていましたが、2018 年 1 月から「まちだ〇ごと大作戦 18-20」として事業を開始しました。

※2 まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「まちだ〇ごと大作戦 18-20」の実施期間を 1 年延長し、「まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺」として 2021 年 12 月末まで実施します。

Ⅲ-3-2-2	シティセールスの推進	取組結果	達成		
所管課	経済観光部観光まちづくり課				
事業概要	町田市への来訪者を増やすため、観光PR活動を推進するとともに、市内で行う映画・ドラマの撮影に対する支援を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	シティセールス活動実施回数	12回/年	12回/年	16回/年	◎
2	映画・ドラマなどの撮影件数	10件/年	15件/年	81件/年	◎
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タウン情報紙・雑誌やWeb・SNSへの観光情報の掲載のほか、市庁舎1階展示スペース、JRA町田特別レース（東京競馬場）、パラバドミントン国際大会（市立総合体育館）、「RUGBY WORLD CUP 2019™ FANZONE IN TOKYO」（調布駅前広場）、ブライントサッカーチャレンジカップ2019（市立総合体育館）等において、シティセールス活動を実施 ・東京2020オリンピック競技大会「自転車競技ロードレース」の開催を機に「自転車ロードレース応援イベント」の開催準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止 ・上記の取り組みにより、目標値12回/年を上回る16回/年となり、目標達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内で行う映画・ドラマの撮影に対する支援として、撮影場所の調整や立会いを実施（「バナナマンのせっかくグルメ!!」、テレビドラマ「恋はつづくよどこまでも」、「教場」、「青のSP（スクールポリス）」、「警視庁強行係 樋口顕」、「部長と社畜の恋はもどかしい」等） ・新型コロナウイルス感染症の影響で、都内で撮影候補地を探すことが多くなったため、映画・ドラマなどの撮影件数が大幅に増加し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	99百万円	決算見込額	17百万円		

【まちづくり基本目標Ⅳ】

暮らしやすいまちをつくる

◎ 基本政策1 誰もが移動しやすいまちをつくる

○ 政策1 円滑に移動できる道路網をつくる

IV-1-1-1	都市計画道路の整備	取組結果	達成		
所管課	道路部道路整備課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。 ・多摩都市モノレール導入路線や市境及び都県境を越えた広域的道路ネットワークの形成を進めます。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	事業実施路線数 (累計) ※1	6 路線	10 路線	10 路線	○
2	都市計画道路の整備済 延長 (市施行分)	59.7 km (2016 年度末)	60.1 km	60.06 km	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度に、【成瀬2】3・3・7 号線、【原町田】3・4・11 号線、【小野路】3・4・22 号線、【小山】3・4・41 号線の4 路線について新たに事業着手し、目標達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施 10 路線のうち、【小山】3・4・41 号線の整備延長について 0.05 km 未了となったが、概ね目標達成 <p>*参考：事業実施 10 路線の進捗</p> <ul style="list-style-type: none"> 【南大谷】3・4・34 号線 (1)：事業認可に向けた調査・設計・測量・協議等 【金 森】3・4・34 号線 (2)：2018 年度工事完了 【成瀬1】3・4・9 号線：事業認可に向けた調査・設計・測量・協議等 【成瀬2】3・3・7 号線：測量・設計、2024 年度工事着手の予定 【原町田】3・4・11 号線：測量・設計 【小野路】3・4・22 号線：測量・設計、2021 年度に一部用地取得 【木曾東】3・4・38 号線：道路築造・電線共同溝・台帳整備、2020 年度完了 【小 山】3・4・41 号線：事業認可に向けた調査・設計・測量・協議等、2020 年度用地取得完了 【下小山田】3・4・20 号線：2021 年度に調査・設計 【鶴 川】鶴川駅北口広場：2021 年度に用地取得・工事着手 				
事業費 (計画見込額)	4,507 百万円	決算見込額	3,704 百万円		

※1 事業実施路線数 (累計)

5 年間の計画期間中に、測量や設計、用地取得や工事などの事業を行う路線数をいいます。現状値は、現在事業を開始している路線数を示しています。

IV-1-1-1	準幹線道路の整備	取組結果	達成		
所管課	道路部道路整備課				
事業概要	円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路の整備を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	整備済延長	84.3 km (2016年度末)	86.4 km	84.46 km	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 忠生 579 号線 (1.3 km)、忠生 630 号線 (0.64 km) の合計 1.94 km が整備未了となったが、概ね目標達成 <p>*参考：整備対象路線の進捗</p> <ul style="list-style-type: none"> 忠生 579 号線 (整備未了分)：設計・測量 忠生 630 号線 (整備未了分)：用地取得、一部延伸 南 1637 号線：整備完了 南 1638 号線：整備完了 忠生 470 号線：整備完了 				
事業費 (計画見込額)	4,132 百万円	決算見込額	771 百万円		

IV-1-1-1	町田市道路整備計画の策定	取組結果	未達成		
所管課	道路部道路政策課・都市づくり部都市政策課				
事業概要	都市間や市内の幹線道路ネットワークの充実を図るため、新たな都市計画道路や再検討を要する路線などの調査検討を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）※1に位置づけられた都市計画道路の都市計画決定	—	新規決定 3 路線	新規決定 3 路線の協議及び検討	△
2	多摩都市モノレール導入路線の事業化に向けた検討	—	検討完了	検討完了（延伸ルートを選定）	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな都市計画道路の決定に必要な、相模原駅周辺などのまちづくりの検討に時間を要したため、目標未達成 <p>*参考：各路線の検討状況</p> <p>①優先整備路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画変更に向け、東京都などの関係機関と協議を実施（町田 3・4・34 号線） 計画内容再検討路線 ・都市計画変更に向け、東京都などの関係機関と協議を実施 ・都市計画変更完了（町田 3・3・7 号線、町田 3・4・13 号線、町田 3・4・14 号線） <p>②あり方検討路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画変更に向け、東京都などの関係機関と協議を実施 ・都市計画変更完了（町田 3・4・12 号線） <p>※町田 3・4・15 号線（薬師池公園）については、事業化を検討していく際に、重複する公園の都市計画変更を行う方針</p> <p>③新たな都市計画道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画変更に向け、東京都や隣接市と協議等を実施 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、町田市、多摩市、多摩都市モノレール株式会社および学識経験者等で構成する「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において、延伸ルートが選定され、目標達成（選定されたルート上に看板や横断幕を設置） 				
事業費 (計画見込額)	64 百万円	決算見込額	61 百万円		

※1 東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）

2016 年 3 月に東京都・特別区・26 市 2 町が合同で策定した、2016 年度～2025 年度までに優先的に整備すべき路線などを定めた都市計画道路に関する方針をいいます。

◎ 基本政策1 誰もが移動しやすいまちをつくる					
○ 政策2 快適な道路環境をつくる					
IV-1-1-1	相原駅周辺のまちづくりの推進	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部地区街づくり課、道路部道路整備課				
事業概要	相原駅周辺の賑わいと交流を創出する生活中心地にふさわしい駅前づくりを実現するため、駅東口への新たなアクセス路の整備や駅東西の適切な土地利用の誘導を行います。				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	東口アクセス路整備の着手	—	工事着手 (2020年度)	用地取得	△
取組内容 ・ 成果等	【指標1】 ・2019年度に相原駅東口まちづくりの方向性を示す「町田市相原駅東口地区まちづくり構想」を地域とともに策定し、2020年度に相原駅東口地区地区計画の決定及び用途地域等の都市計画変更を実施 ・駅西側においては、都市計画道路に囲まれた地区の土地利用検討に向け、地権者と意見交換を実施 ・東口アクセス路整備については、約17%の用地取得が完了するものの、一部の地権者との協議に時間を要したため、工事着手に至らず、目標未達成				
事業費 (計画見込額)	1,280百万円	決算見込額	509百万円		

未来づくりプロジェクト

IV-1-2-2	無電柱化の推進	取組結果	未達成		
所管課	道路部道路整備課				
事業概要	良好な景観形成や災害時の被害を少なくするため、電線の地中への埋設を進めます。				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	整備済延長※1	4.9km (2016年度末)	5.6km	4.98km	△
取組内容 ・ 成果等	【指標1】 ・都計道3・4・38号線(木曽東)の電線共同溝工事が完了(整備延長0.08km) ・東京都のチャレンジ補助の認定取得、設計・調査、地元との合意形成を進めたため、当初予定の町田835号線、町田37号線の合計600mが整備未了となり目標未達成				
事業費 (計画見込額)	1,790百万円	決算見込額	144百万円		

※1 整備済延長

無電柱化の推進における整備済延長は、町田市が単独で施工した無電柱化整備済延長と東京都と協定を締結して事業を進めているみちづくり・まちづくりパートナー事業により町田市が整備した無電柱化整備済延長の合計をいいます。

※2 VR

バーチャルリアリティの略。ワークショップや地元説明で、市民が整備イメージを理解しやすくするために、3D図化したものです。

※3 無電柱化チャレンジ補助事業制度

東京都が市区町村に対し、無電柱化に関わる設計・工事費用等を手厚く補助する制度です。

◎ 基本政策1 誰もが移動しやすいまちをつくる

○ 政策3 利便性の高い交通環境をつくる

未来づくりプロジェクト

IV-1-3-1	多摩都市モノレールの延伸	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部都市政策課				
事業概要	市内の南北方向の公共交通を充実させるため、多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田方面への延伸実現に向けた検討を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	事業化に向けた検討	—	検討完了	検討完了（延伸ルートを選定）	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川中央交通、小田急電鉄、UR 都市機構とモノレール延伸を見据えたまちづくりの検討に関する協定を結び、モノレール沿線まちづくりの検討を実施 ・ 2019 年度に、モノレールの導入空間となりうる都市計画道路の事業用地について市が先行取得を進める「多摩都市モノレール町田方面延伸加速化プロジェクト」を開始し、事業用地を取得 ・ 東京都、町田市、多摩市、多摩都市モノレール株式会社で多摩都市モノレール町田方面延伸に向けて、具体的な調整を実施 ・ 2019 年度から、東京都、町田市、多摩市、多摩都市モノレール株式会社および学識経験者等で構成する「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において検討を行い、2021 年度に延伸ルートが選定され、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	72 百万円	決算見込額	335 百万円		

IV-1-3-1	小田急多摩線の延伸	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部交通事業推進課				
事業概要	首都圏南西部における広域連携拠点の形成促進や、新駅の設置による鉄道不便地域の解消などを目的に、小田急多摩線の唐木田駅から相模原方面への延伸実現に向けた検討を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	事業化に向けた検討	—	検討完了	検討実施	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年8月に組織した「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」において、国の答申で示された収支採算性等の課題解決に向けた検討を実施 ・2019年5月に「小田急多摩線延伸に関する関係者会議 報告書」を公表 ・事業化に向けた検討を実施したが、完了に至らなかったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	50 百万円	決算見込額	34 百万円		

IV-1-3-2	路線バス利用環境の整備	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部交通事業推進課				
事業概要	バス路線網の再編や乗り継ぎ拠点の整備を進め、路線バスを利用しやすい環境をつくります。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	小山田桜台を拠点とした唐木田駅方面への新規路線導入	—	1 路線	0 路線（小型バス運行の実施）	△
2	拠点の整備	—	1 箇所	0 箇所（方向性決定）	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から、小山田桜台を拠点としたワゴン車による検証運行を開始し、2019年度には小型バスへ変更 ・交差点改良等の走行環境整備工事、利用者数増加に向けた町内会自治会を通じた沿線へのポケット時刻表配布、金額式 IC 定期券の導入に向けた調整等を実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、道路整備が遅れていることや利用者数が減少していることから新規路線の導入には至らず、目標未達成 ・今後も当面は小型バスによる運行を継続 <p>【指標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度以降、乗継拠点候補地における測量及び予備設計、バス路線利用状況調査等を実施 ・2019年度のバス路線利用状況調査により、路線バス単体での拠点では利便性が向上しないことがわかったため、拠点整備の方向性について再度検討を実施 ・多摩都市モノレールの駅整備に合わせてバスの乗り継ぎを含む必要な諸機能を地域や交通事業者等と検討することとなったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	248 百万円	決算見込額	234 百万円		

IV-1-3-3	小田急町田駅周辺地区のまちづくりの推進（再掲事業）	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部都市政策課				
事業概要	中心市街地に新たな賑わいの創出、新たな集客機能の充実を目指すとともに、町田駅利用者の快適性、利便性をより一層高めるために、交通ターミナルの整備についての検討を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定	—	小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定	「町田市都市づくりのマスタープラン」において、町田駅周辺地区をリーディングプロジェクトとして位置づけ	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年度からモノレール延伸を見据えた町田駅の交通ターミナル機能の再編と周辺整備の方向性の検討を実施 ・小田急電鉄とまちづくりの検討に関する協定を結び、町田駅周辺まちづくりや交通利便性向上に関する検討を実施 ・「町田市都市づくりのマスタープラン」において、町田駅周辺地区をリーディングプロジェクトとして位置づけ 				
事業費 (計画見込額)	85 百万円	事業費 (計画見込額)	69 百万円		

IV-1-3-3	鶴川駅周辺のまちづくりの推進（再掲事業）	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部地区街づくり課、道路部道路整備課				
事業概要	鶴川駅周辺の安全で便利な交通と快適で賑わいのある駅前空間を実現するため、北口交通広場※1の再編や南口の市街地整備、新たな商業施設の誘導を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	北口交通広場再編整備の着手	—	整備着手	整備着手	○
2	南口土地区画整理事業の認可	—	事業認可 (2018年度)	事業認可 (2019年度)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、北口交通広場再編整備、南北自由通路整備事業及び南口土地区画整理事業を推進 南北自由通路整備事業については、2020年度に予定した道路認定には至らぬものの実設計を完了 <p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北口交通広場再編整備については、2021年度に当初目標の整備工事に着手し、目標達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南口土地区画整理事業については、2018年度に事業認可に至らず、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	3,314 百万円	決算見込額	3,489 百万円		

※1 北口交通広場

分かりやすくするために、「北口広場」を「北口交通広場」に変更しました。

◎ 基本政策1 誰もが移動しやすいまちをつくる

○ 政策4 多様な移動手段を確保する

未来づくりプロジェクト

IV-1-4-1	交通空白地区の解消	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部交通事業推進課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や路線バスが運行されていない地域の移動環境を向上するため、地域住民やバス事業者と行政が協働して地域コミュニティバス※1 を運行します。 ・交通空白地区※2 を解消するため、市内2地区において、新たな公共交通サービスの導入を目指します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	新たな公共交通サービスの導入	—	2地区	0地区 (地域の支え合いによる移動の取組支援に方針を転換)	△
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度から実施の鞍掛台、2019年度から実施の鶴川団地での地域の支え合いによる移動の取り組み（双方とも「まちだOごと大作戦 18-20⁺」で実施）を支援 ・2020年度に、オンデマンド交通「町田E-バス」実証実験を小田急電鉄と連携して実施 ・2021年度に、相原地区で福祉施設、地域協議会、市が連携し、福祉車両の空き時間を活用した買い物バスの検討を開始 ・2017年度から2021年度にかけて、相原地区、本町田地区、つくし野地区、高ヶ坂・成瀬地区において、タクシー車両を用いた実証実験運行を行ったが、利用者数が伸びず本格導入を見送ったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	324百万円	決算見込額	155百万円		

※1 地域コミュニティバス

地域住民、バス事業者、行政の三者が協働して運営し、住宅地から近隣駅へのアクセス向上などを目的として、一定地域内を運行するバスをいいます。

※2 交通空白地区

自宅から最寄りの鉄道駅までの距離が300mよりも遠く、かつ最寄りのバス停までの距離が250mよりも遠い地域で、人口密度や緑地などを考慮して「町田市便利なバス計画」の中で定めた地域をいいます。

IV-1-4-2	自転車利用環境の整備	取組結果	達成		
所管課	道路部道路整備課				
事業概要	幅広い世代に利用され環境負荷の少ない自転車の利用促進と、自転車と歩行者・自動車が安全に安心して通行できる道路環境の整備のため、自転車走行空間の整備を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	自転車走行空間整備 延長	1.37 km (2016年度末)	3.03 km	3.26 km	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、自転車走行空間整備として自転車走行レーン工事を実施 ・目標値3.03 kmを上回る3.26 kmとなり、目標達成 <p>*参考：整備路線、整備延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度：南1801号線、0.30 km ・2018年度：忠生943号線・町田623号線、0.58 km ・2018年度：都計道3・4・34号線、0.36 km ・2019年度：町田95号線・町田749号線、0.32 km ・2019年度：町田95号線、0.33 km 				
事業費 (計画見込額)	53 百万円	決算見込額	26 百万円		

◎ 基本政策2 良好な住環境のまちをつくる

○ 政策1 多様な住まいを確保する

IV-2-1-1	空家対策の推進	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部住宅課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田市空家〇計画」※1に基づき、周辺の住環境に深刻な影響を及ぼす空家を発生させないよう、計画的に「空家の発生の予防」「所有者等による適切な管理」並びに「事業者による不動産流通の促進」及び「公共公益的な利活用」を促進します。 ・周辺に深刻な影響を及ぼす特定空家等※2とならないよう、所有者などへの働きかけを含め、適切な対応を行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	特定空家等の件数	—	〇件	〇件	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、各相談窓口の周知啓発、専門家による空家に関する無料相談会、利活用促進助成制度、所有者不明土地にある空家の財産管理人申立、略式代執行、空家に関する情報の取りまとめなどを実施 ・特定空家等が2017年度に1件（2017年10月解消）、2019年度に1件発生（2020年12月解消）したが、2021年度末時点で特定空家等は〇件となり、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	49百万円	決算見込額	18百万円		

※1 「町田市空家〇計画」

「空家等対策の推進に関する特別措置法」第6条に基づき、2016年6月に策定した空家等対策計画をいいます。

※2 特定空家等

そのまま放置すれば倒壊など著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等をいいます。（空家等対策の推進に関する特別措置法第2条第2項）

IV-2-1-2	団地再生の推進	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部住宅課				
事業概要	「町田市団地再生基本方針」※1の基本理念である「時代の変化に対応しつつ、地域とともに歩み続ける団地」の実現を目指し、団地の居住者、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）、東京都住宅供給公社（JKK東京）とともに、大規模団地※2の再生に向けた検討を進めます。再生に向けての具体的な検討は個別の団地単位で行い、一定の方向性がまとまった段階で新たな団地での取組を開始します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	団地再生に向けた取組を行っている団地数	7 団地	8 団地	9 団地	◎
取組内容・成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に団地再生に向けた取組を行っている団地が2団地増加し、目標値9団地（藤の台、鶴川、木曽山崎団地地区（町田山崎・山崎第二・町田木曽・木曽）、森野、本町田、小山田桜台）を達成 ・団地ごとに、ワークショップ、魅力発信イベント、大学との連携、JKK、UR、商店会、自治会との意見交換などを実施 <p>*参考：団地再生に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤の台団地：ワークショップ「ふじずかん」、地域主体での「みちあそび」活動の支援、分譲管理組合を対象とした先進団地事例の見学会 ・鶴川団地：商店会との共催による入居50周年のイラストコンテスト、冒険遊び場を活用したワークショップ、センター街区再編に向けたURとの意見交換 ・木曽山崎団地地区：団地の魅力を発信するためのイベント「遊団地」、木曽山崎団地地区まちづくり構想の改定案の作成 ・本町田住宅：昭和薬科大学及びJKKと連携した、団地再生のための協議、交流会 ・小山田桜台団地：小山田桜台団地と周辺地域を対象としたまちづくり構想の策定、エリアマネジメントの取組の支援 ・主に小山田桜台団地・木曽山崎団地地区・森野住宅：多摩都市モノレール延伸を見据え、UR・JKKと継続的な協議を実施 				
事業費 (計画見込額)	34 百万円	決算見込額	21 百万円		

※1 「町田市団地再生基本方針」

20年後の住宅都市町田の目指すべき方向性を示し、団地周辺を含めたまちの活性化を実現するため、2012年度に策定された基本方針です。

この基本方針は、団地だけでなく、その周辺を含めた“まち”の活性化を実現させるために、団地再生の基本理念を「時代の変化に対応しつつ、地域とともに歩み続ける団地」と掲げ、実現のための「再生方針」「再生手法例」「再生の推進体制」を定めたものです。

※2 大規模団地

「町田市団地再生基本方針」において定義された、UR都市機構とJKK東京が供給した100戸以上かつ複数の棟からなる大規模な団地をいいます。

- ・UR都市機構：鶴川団地、町田山崎団地、藤の台団地、山崎第二団地、小山田桜台団地
- ・JKK東京：高ヶ坂住宅、森野住宅、木曽住宅、本町田住宅、境川住宅、町田木曽住宅、真光寺住宅

◎ 基本政策2 良好な住環境のまちをつくる

○ 政策3 地域の計画的なまちづくりを進める

IV-2-3-2	南町田駅周辺地区の拠点整備（再掲事業）		取組結果	未達成	
所管課	都市づくり部都市政策課・公園緑地課、道路部道路政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・副次核※1として「新たな暮らしの拠点」の創出をめざし、官民共同で、都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備します。 ・土地区画整理事業、歩行者ネットワーク整備事業、鶴間公園・融合ゾーン魅力創出事業などを組み合わせて実施します。 ・歩行者ネットワーク整備事業の一環として、駅南北地域をつなぐ自由通路の整備を行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	事業完了	事業着手	事業完了 (2020年度)	複合利用ゾーンの都市計画変更 土地区画整理事業の事業計画変更 (2022年度事業完了予定)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民共同で、都市基盤、都市公園、商業施設、都市型住宅などを一体的に再整備し、2019年11月に「南町田グランベリーパーク」をまちびらき ・南町田グランベリーパーク駅南北自由通路整備工事、鶴間公園再整備工事、パークライフ・サイト外構工事、土地区画整理事業整備工事を実施 ・まちのデザインと空間づくりが評価され、2021年3月には「第1回グリーンインフラ大賞」において国土交通大臣賞を、2021年12月には「土木学会デザイン賞2021」において優秀賞を受賞 ・2020年度に事業完了予定であったが、コロナ禍における社会情勢の変化を鑑みて、複合利用ゾーンの土地利用について改めて検討を行う必要が生じ事業期間を延伸（2022年度完了予定）したため目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	7,380 百万円		決算見込額	5,090 百万円	

※1 副次核

「町田市都市計画マスタープラン」において、町田駅周辺に次ぐにぎわいの拠点として位置付けた、鶴川駅周辺、南町田駅周辺及び多摩境駅周辺の3つの拠点を指します。

IV-2-3-2	鶴川駅周辺のまちづくりの推進（再掲事業）	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部地区街づくり課、道路部道路整備課				
事業概要	鶴川駅周辺の再整備により、安全で便利な交通と快適で賑わいのある駅前空間を実現するため、北口交通広場※1の再編や南口の市街地整備、新たな商業施設の誘導を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	北口交通広場再編整備の着手	—	整備着手	整備着手	○
2	南口土地区画整理事業の認可	—	事業認可 (2018年度)	事業認可 (2019年度)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1・2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、北口交通広場再編整備、南北自由通路整備事業及び南口土地区画整理事業を推進 南北自由通路整備事業については、2020年度に予定した道路認定には至らぬものの実施設計を完了 <p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北口交通広場再編整備については、2021年度に当初目標の整備工事に着手し、目標達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南口土地区画整理事業については、2018年度に事業認可に至らず、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	3,314 百万円	決算見込額	3,489 百万円		

※1 北口交通広場

分かりやすくするために、「北口広場」を「北口交通広場」に変更しました。

IV-2-3-2	相原駅周辺のまちづくりの推進（再掲事業）	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部地区街づくり課、道路部道路整備課				
事業概要	相原駅周辺の賑わいと交流を創出する生活中心地にふさわしい駅前づくりを実現するため、駅東口への新たなアクセス路の整備や駅東西の適切な土地利用の誘導を行います。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	東口アクセス路整備の着手	—	工事着手 (2020年度)	用地取得	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019年度に相原駅東口まちづくりの方向性を示す「町田市相原駅東口地区まちづくり構想」を地域とともに策定し、2020年度に相原駅東口地区地区計画の決定及び用途地域等の都市計画変更を実施 駅西側においては、都市計画道路に囲まれた地区の土地利用検討に向け、地権者と意見交換を実施 東口アクセス路整備については、約17%の用地取得が完了するものの、一部の地権者との協議に時間を要したため、工事着手に至らず、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	1,280 百万円	決算見込額	509 百万円		

IV-2-3-2	計画的なまちづくりの推進	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部都市政策課・交通事業推進課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市の都市計画の基本的方針である「町田市都市計画マスタープラン」の第二次改定を行います。 ・「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」※1の両計画について、関連計画の変更や社会経済状況などを踏まえ、時代にふさわしいプランとなるように、点検・改定を行います。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	改定完了	—	改定完了	改定完了	○
取組内容・成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から検討開始し都市計画マスタープラン、交通マスタープラン、住宅マスタープラン、緑の基本計画を統合した総合的な都市づくりの計画として、「都市づくりのマスタープラン」を2021年度に策定し、目標達成 <p>*参考：関係する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都市づくりのマスタープラン」の実現に向け、実効的な都市計画制度の運用を図るため、都市計画審議会における検討や、市民意見募集などを経て、「町田市土地利用に関する基本方針及び制度活用の方策」を改定 ・「都市づくりのマスタープラン」の実現に向け、市民主体のまちづくりを推進するため、街づくり審査会における検討や、パブリックコメントなどを経て、「町田市住みよい街づくり条例」を改正 				
事業費 (計画見込額)	90百万円	決算見込額	107百万円		

※1 「町田市都市・地域総合交通戦略」

2009年度に策定した計画で、町田市交通マスタープランに示す「だれもが不便なく移動できるまち」の実現のため、おおむね5～10年の交通施策の展開方針と施策パッケージを定めたものをいいます。

◎ 基本政策3 みどり豊かなまちをつくる

○ 政策2 まとまりのあるみどりを保全する

IV-3-2-1	生物多様性の保全	取組結果		達成	
所管課	環境資源部環境共生課				
事業概要	<p>市内の生物多様性に関する情報収集・発信や保全団体と市民の交流を促進するため、次の内容による仕組みを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内外の生物多様性に関する情報を網羅したウェブサイトの整備を行う。 ・ 多様な生きものの生息場所付近への「(仮称)生きものストップ」を設置する。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	生きもの情報報告件数	287 件	3,000 件	6,814 件	◎
2	(仮称) 生きものストップ ※1 設置件数	—	5 件	5 件	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市ホームページ、生きもの情報コーナー及びイベントで、町田に生息する生きものの情報や、生物多様性に関わる活動を行っている団体の情報を発信 ・ 市民協働による生きもの調査（セミの鳴き声分布・ツバメの営巣状況・水辺の生きもの調査・スマホアプリを使った生きもの調査）を行うなど、5年間の目標値 3,000 件を大きく上回る 6,814 件の生きもの情報報告を受け、目標達成 <p>*参考：その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来生物に関する問い合わせ先の整理、ホームページで情報の発信 ・ 町田生きもの共生フォーラムなどの講演会を開催 ・ まちだ生きもの探しマップ、つばめ見守りPRステッカー、まちだ生きものアルバムなどを作成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町田市ホームページ内のコンテンツを充実させ、「生物多様性センター」として情報拠点機能を整備 ・ 「(仮称) 生きものストップ」のあり方を再考し、「生きもの情報コーナー（市内里山の間伐材を活用した書架）」を5箇所の公園（相原中央公園、野津田公園、忠生公園、薬師池公園、鶴間公園）の管理棟などに設置し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	24 百万円	決算見込額		9 百万円	

※1 「(仮称) 生きものストップ」

団体や市民の方が、気軽に生きものに関する情報を得られることができる場所をいいます。

IV-3-2-2	町田薬師池公園四季彩の杜の整備（再掲事業）	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課、地域福祉部障がい福祉課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市の観光拠点とするため、町田薬師池公園四季彩の杜の公園、その他の各施設について、四季折々の花や庭園、風景などを楽しめるように整備します。 ・老朽化が進んでいるリス園・ダリア園を改修します。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	西園及びウェルカムゲート※1の整備	—	整備完了 (2019年度)	整備完了 (2019年度)	○
2	リス園・ダリア園の改修	—	改修完了	改修完了	○
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度に、西園及びウェルカムゲートの整備が完了し、目標達成 ・西園の来園者数は、2020年度、2021年度のそれぞれで50万人を超えた <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リス園、ダリア園ともに、老朽化の進んでいる施設や設備に対し広範囲において予定していた改修工事を完了し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	2,543百万円	決算見込額	1,991百万円		

※1 ウェルカムゲート

2018年3月に策定した『町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針』に基づき、「ゲートハウス」を「ウェルカムゲート」に改めました。

IV-3-2-2	野津田公園スポーツの森の整備（再掲事業）	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指し、多目的グラウンドやテニスコートを拡張区域に新たに設けるとともに、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように公園全体を再整備します。 ・プロスポーツなどの大きなスポーツ大会に対応する競技環境と観戦設備を整備します。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	拡張区域整備	—	用地取得完了 (2020年度)	用地取得未完了	△
2	大型映像装置整備	—	整備完了 (2017年度)	整備完了 (2017年度)	○
3	観客席増設	—	整備完了 (2020年度)	整備完了 (2021年度)	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丘の上グラウンド、クラブハウスなどの拡張区域工事の一部の整備工事完了 ・計画時に予定していた拡張区域の一部の用地について、地権者との調整に時間を要し、取得が未完了のため、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に大型映像装置の整備が完了し、目標達成 <p>【指標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度には整備が完了せず、目標未達成 ・2021年5月に観客席5,000席増設整備完了・供用開始（増設後15,000席） 				
事業費 (計画見込額)	7,536百万円	決算見込額	6,524百万円		

IV-3-2-2	芹ヶ谷公園芸術の杜の整備（再掲事業）	取組結果	達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課				
事業概要	芸術の杜にふさわしい空間を演出し、中心市街地との回遊性も高め、新たな賑わいを創出する公園として再整備します。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	第一期整備完了 （都営住宅跡地など）	—	整備完了 （2020年度）	整備完了 （2019年度）	○
取組内容 ・ 成果等	【指標 1】 ・2019年度に当初目標の第一期整備区域「さわやかみどりゾーン」の整備工事が完了し、目標達成 ・2019年11月に芹ヶ谷公園グラウンド、トイレ棟を、2020年3月に大型滑り台、デッキスロープ、芝生広場を供用開始 ・2020年度に第二期公園整備の基本設計が完了し、2022年度以降に実施設計、整備工事を実施予定				
事業費 （計画見込額）	633 百万円	決算見込額	776 百万円		

IV-3-2-2	（仮称）蓮田公園の整備	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課、環境資源部循環型施設整備課				
事業概要	蓮田※1の魅力を最大限に活かしつつ、周辺住民などのコミュニティ活動の活性化に寄与する施設を併設した緑地とします。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	（仮称）蓮田公園の整備	—	整備完了	基本設計完了	△
取組内容 ・ 成果等	【指標 1】 ・2017年度から2019年度にかけて周辺住民との意見交換、利用者ニーズを把握するためのワークショップを実施し、（仮称）蓮田公園整備計画の策定、都市計画決定手続きを実施 ・2020年度蓮田緑地基本設計が完了し、用地購入に着手 ・周辺住民との意見交換等に時間を要し、また新型コロナウイルス感染症の影響により実施設計が先送りとなり、目標未達成				
事業費 （計画見込額）	101 百万円	決算見込額	135 百万円		

※1 蓮田

小山田神社周辺に広がる蓮の栽培地をいいます。

IV-3-2-2	(仮称) 大戸広場の整備	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課、環境資源部循環型施設整備課				
事業概要	循環型施設周辺を、広場及び緑地として整備して緩衝帯とするとともに、緑を活かした地域交流を深める憩いの場として活用を図ります。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	(仮称) 大戸広場整備	—	整備完了	整備計画策定完了	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度から2020年度にかけて、関係者との調整、測量、整備計画の策定を実施 ・関係者との調整や資源ごみ処理施設の稼働時期に合わせたスケジュールが後ろ倒しになり、また新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が先送りとなったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	452 百万円	決算見込額	10 百万円		

IV-3-2-2	処分場上部を活用した公園の整備	取組結果	未達成		
所管課	都市づくり部公園緑地課				
事業概要	最終処分場の一部を閉鎖し、その上部にスポーツ施設などの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	処分場上部公園整備	—	整備完了	整備工事着手	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度に、熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会との協議を踏まえた「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」を策定 ・2018年度に基本設計、2019年度に実施設計を完了 ・2020年度に工事着手したが、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、(仮称) 忠生スポーツ公園整備工事の一部が先送りとなったため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	226 百万円	決算見込額	184 百万円		

IV-3-2-3	北部丘陵における里山環境の回復・保全	取組結果	達成		
所管課	経済観光部農業振興課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・里山環境保全活動に取り組む人、地域住民などの多様な担い手によって、里山環境の再生保全に取り組めます。 ・「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」※1に基づき、手入れの行き届いた里山環境を観光資源として活用することにより、来訪者を呼び込み、北部丘陵全体の活性化を図ります。 				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	新たな交流・回遊拠点※2の開設	1箇所	2箇所	1箇所	△
2	新たな取組による山林などの活用面積	—	5,000㎡	66,011㎡	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな交流・回遊拠点の開設に向けて、施設の開設箇所や運営等について、地域住民や活動団体、地権者等へのヒアリングを実施 ・里山資源の活用など事業採算性の確保について、企業への調査を実施 ・施設の整備や運営について、民間事業者の参入など更なる検討を要するため、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山環境を観光資源として活用するため、5年間で合計5つの団体や個人と協定を結び、北部丘陵における未利用の山林約66,000㎡を活用し、目標を達成 ・活動団体に人材、財政等の幅広い支援を行った結果、目標値を大幅り、目標達成 ・2018年度には、山林バンクモデル事業で始めた『HATARAKU認知症ネットワーク町田』の取り組みが、NHK厚生文化事業団「認知症にやさしいまち大賞」を受賞 				
事業費 (計画見込額)	165百万円	決算見込額	13百万円		

※1 「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」

「町田市北部丘陵活性化計画」を推進するための行動計画（2017年度～2020年度）をいいます。

※2 交流・回遊拠点

来訪者や里山環境保全活動に取り組む人、地域住民などの多様な担い手のための休憩コーナー、トイレ、駐車場、産地直売所などをいいます。

◎ 基本政策4 環境に配慮したまちをつくる

○ 政策1 地球温暖化対策を進める

IV-4-1-2	水素エネルギーの活用	取組結果	達成		
所管課	環境資源部環境政策課				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池自動車（FCV）の普及を促進するため、市内に水素ステーションを誘致します。 ・水素エネルギーにおける普及啓発として、FCVの環境性能などをPRするため、公用車へ率先して導入を図ります。 ・水素エネルギーの情報や将来のエネルギーとしての有効性を伝えていくため、普及啓発活動を実施します。 				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	水素ステーションの誘致	—	1箇所	0箇所 (誘致活動実施)	△
2	水素関連のイベントに参加した市民	639人	3,000人	3,722人	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、設置候補地の検討、関係者との調整、水素ステーション事業者へ市有地への誘致の呼びかけや、民有地の地権者と水素ステーション事業者の仲介等を実施したが、水素ステーション事業者の誘致（水素ステーション設置）には至らなかったため、目標未達成 <p>【指標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、小学校での水素環境学習（11校）、水素関連普及啓発イベント（34回）、水素エネルギーオンラインセミナー（1回）などの啓発イベントを数多く実施したことで、目標値の3,000人を大きく上回る3,722人の市民が参加し、目標達成 				
事業費 (計画見込額)	38百万円	決算見込額	1百万円		

◎ 基本政策4 環境に配慮したまちをつくる

○ 政策2 循環型社会をつくる

IV-4-2-2	資源循環型施設の整備	取組結果		未達成	
所管課	環境資源部循環型施設整備課				
事業概要	資源循環型のまちづくりを実現するため、老朽化したごみ処理施設に代わり、新たに熱回収施設など（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）と資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック圧縮梱包施設など）の整備を進めます。				
指標		現状値	目標値	実績値	達成度
1	熱回収施設などの整備	—	稼働開始	稼働開始	○
2	資源ごみ処理施設の整備	1 施設 (南地区)	3 施設（相原地区・ 上小山田地区） 2020 年度稼働開始	相原地区資源ごみ処理施設都市計画決定	△
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度に町田リサイクル文化センターの旧管理棟解体工事が完了し、熱回収施設の造成工事に着手 ・2021 年度に熱回収施設が完成（2022 年 1 月稼働開始）し、目標達成 ・既存清掃工場の解体工事に着手 <p>【指標 2】</p> <p><相原地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度までに用地測量、2021 年度に都市計画決定が完了したが、用地取得や関係機関等との協議・調整に時間を要したため、目標未達成 <p><上小山田地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ処理施設の用地確保や関係機関等との協議・調整に時間を要したため、目標未達成 				
事業費 (計画見込額)	37,255 百万円	決算見込額		28,387 百万円	

◎ 基本政策4 環境に配慮したまちをつくる

○ 政策3 良好な生活環境をつくる

IV-4-3-2	下水処理場の整備	取組結果	達成		
所管課	下水道部水再生センター				
事業概要	河川の水質向上により、広域的な水環境の保全に貢献するため、汚水の高度処理※1に対応した下水処理場の整備・再構築を進めます。				
	指標	現状値	目標値	実績値	達成度
1	高度処理化率※2	9.8%	20.6%	30.0%	◎
取組内容 ・ 成果等	<p>【指標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2021年度にかけて、高度処理施設の増加、高度処理技術の実証研究により、高度処理化率が計画初期値の9.8%から20.2ポイント上昇 ・高度処理化率は、目標の20.6%を大きく上回る30.0%となり、目標達成 <p>*参考：取り組み内容</p> <p><鶴見川クリーンセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度から実施していた水処理棟増設工事が2018年度に完了し、高度処理能力12,300m³/日を増強 <p><成瀬クリーンセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度から2018年度にかけて段階的の高度処理の導入、事業認可を取得し、高度処理能力16,400m³/日を増強 ・2019年度から2020年度は、国土交通省のB-DASH（下水道革新的技術実証事業）として全額国費で高度処理技術の実証実験を実施 ・2021年度は、共同研究者である民間企業の全額負担で高度処理技術の自主研究を実施 				
事業費 (計画見込額)	20,472 百万円	決算見込額	3,740 百万円		

※1 高度処理

これまでの処理方式である標準活性汚泥法に比べて、富栄養化の原因である「窒素」と「りん」の除去に優れた処理方法をいいます。

※2 高度処理化率

現有処理能力に対し、高度処理及び段階的の高度処理施設の処理能力の割合のことをいいます。

※3 B-DASH プロジェクト（下水道革新的技術実証事業）

下水道事業における新技術の研究開発及び実用化を加速させることにより、低炭素・循環型社会の構築や浸水・老朽化対策等を実現し、新技術を国内外へ広く普及させることを目的とした国土交通省の実証研究事業のことをいいます。

